

口宮の沢橋 補修計画図

令和7年度 口宮の沢橋修繕工事

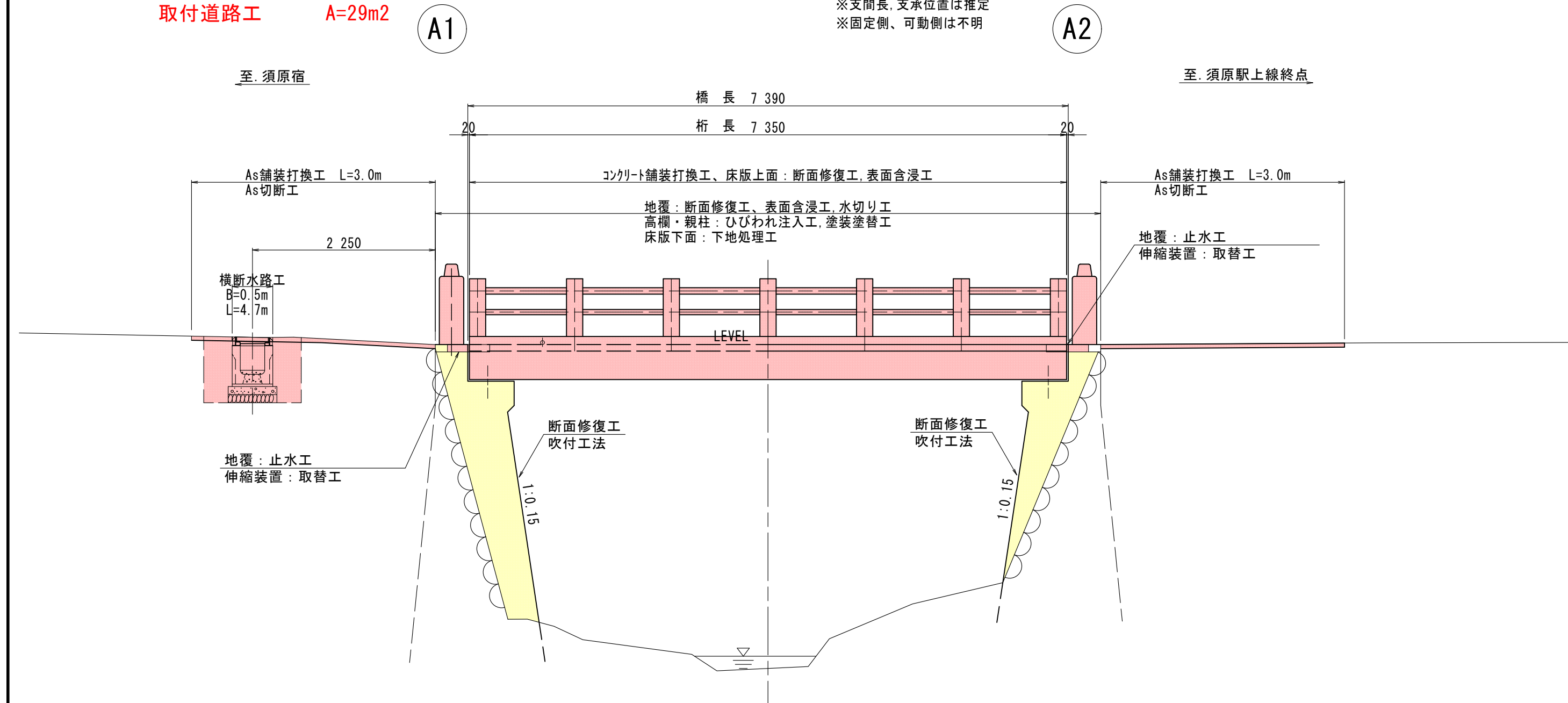
橋面鋪裝打換工 A=29m2

伸縮装置取替工 L=8m

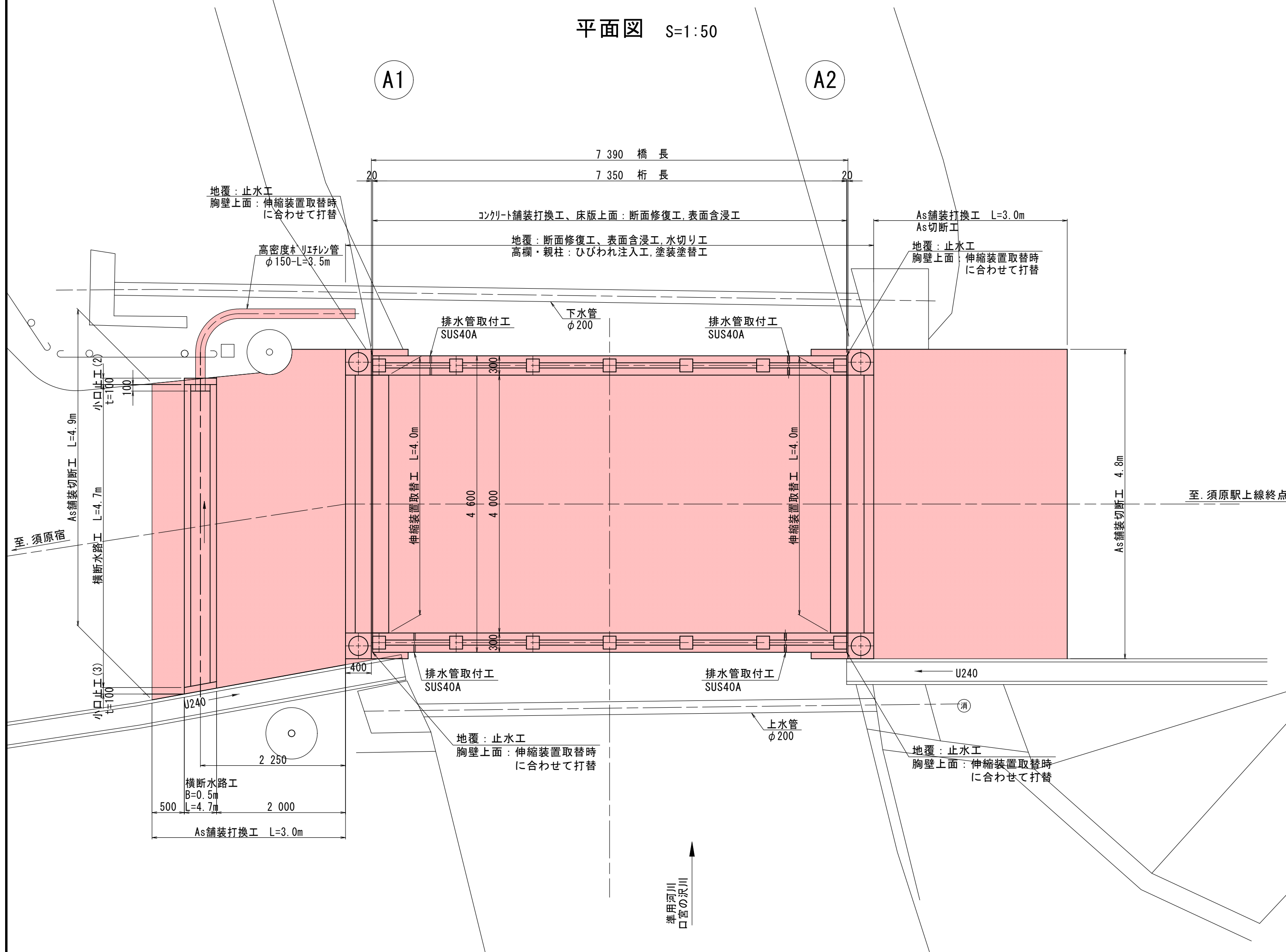
取付道路工 A=29m²

側面図 S=1:50

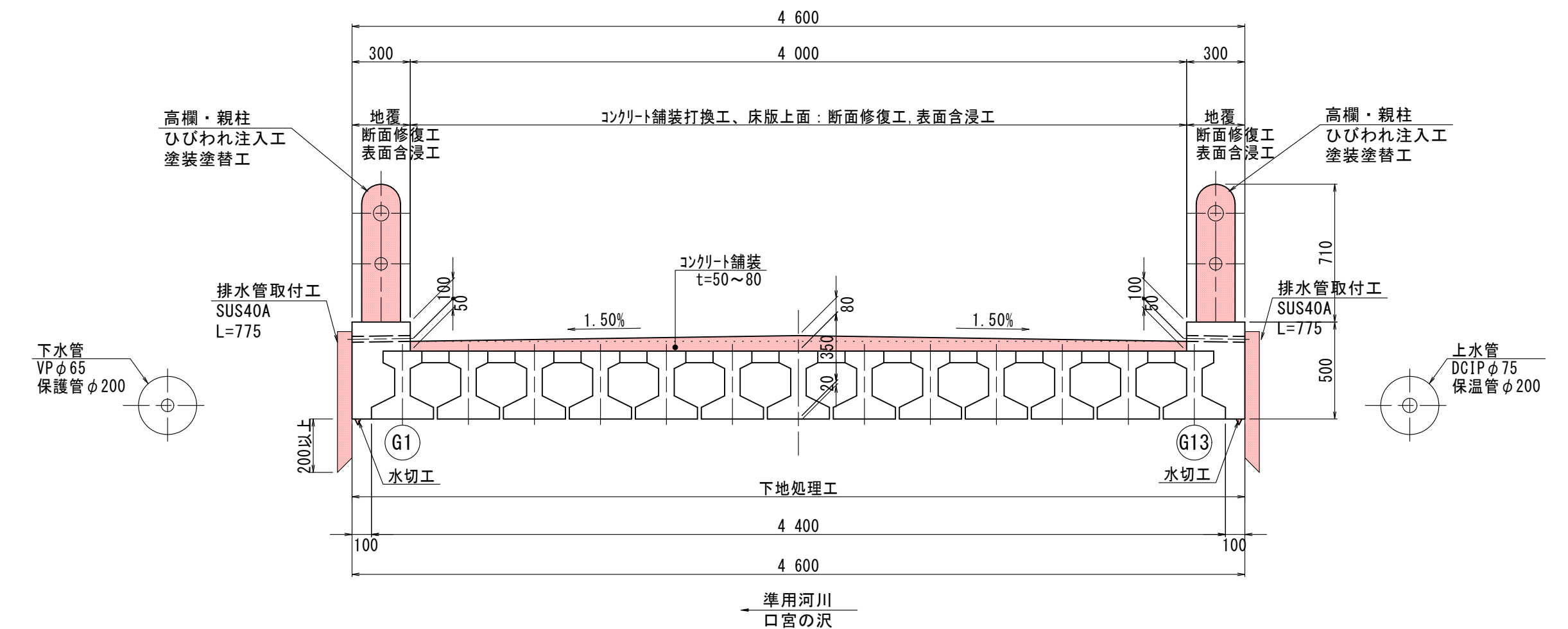
※支間長、支承位置は推定
※固定側、可動側は不明



平面图 S=1:50

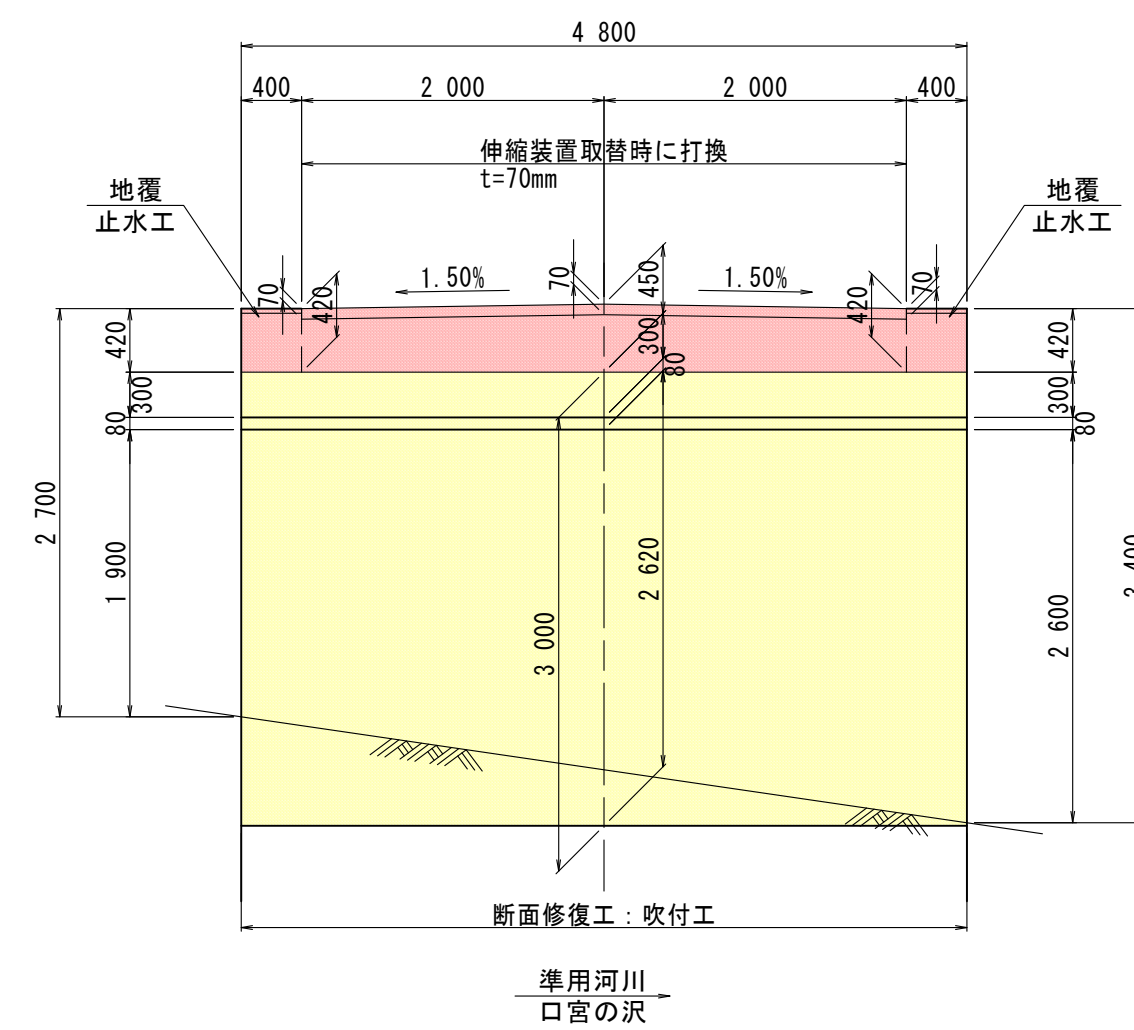


上部工断面図 S=1:25

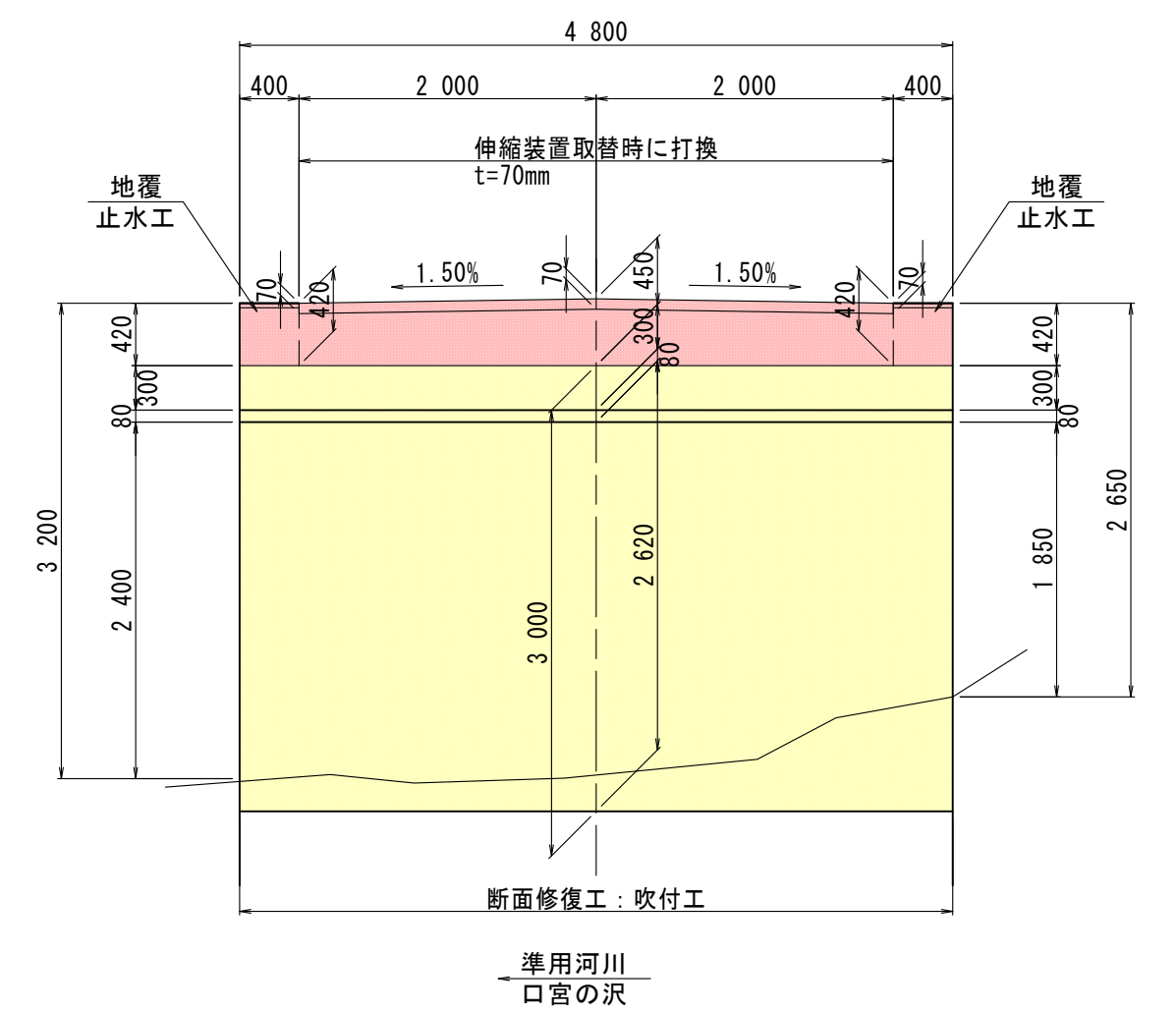


下部工正面図 S=1:50

A1橋台



A2橋台



補修項目一覽表

部位			部材	補修工種	補修項目
上部工	橋面	舗装	舗装打換工	コンクリート舗装切削 t=5～8cm	
				コンクリート舗装打換 t=5～8cm 超早強有機繊維補強コンクリート	
		床版上面	断面修復工	左官工法（はつり+ホ [*] リマ-メント）	
			表面含浸工	下地処理、含浸材塗布（リナム系）	
		地覆	断面修復工	左官工法（はつり+ホ [*] リマ-メント）	
			表面含浸工	下地処理、含浸材塗布（高分子系）	
			水切工	後接着型水切材貼付け	
		高欄、親柱	ひびわれ注入工	注入工法	
			塗装塗替工	塗装塗替 （ Rc-Ⅲ塗装系）	
	伸縮装置		伸縮装置取替工	鋼製、非排水型（地覆端部止水含む）	
	排水装置	排水管取付工	排水管取付		
橋体	床版	下地処理工	下面：遊離石灰灰除去清掃		
	橋台	橋台	ひびわれ注入工	・注入工法：打継目	
断面修復工			吹付工法（はつり+配筋+リナムイオン添加ホ[*]リマ-メント吹付）		
付帯工	取付道路	起終点	舗装打換工	As舗装t=5cm切断、撤去、路盤材増敷設+As舗装t=5cm	
		起点側	横断水路工	横断水路設置、全面ゲレ-ション [*] 蓋	

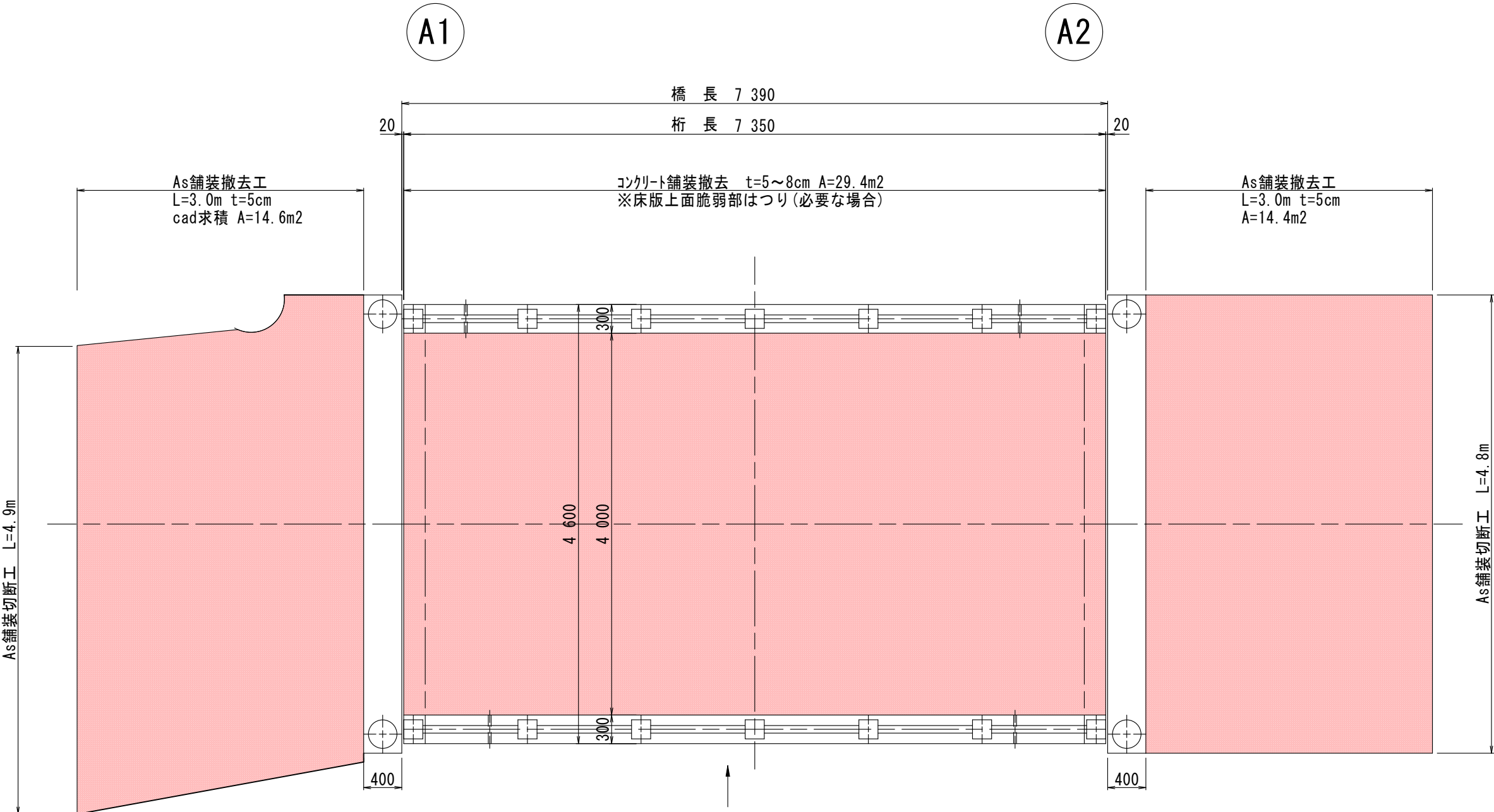
実施図

令和7年度 口宮の沢橋修繕工事			
番号	1 / 8	補修一般図	縮尺 図示
村道須原駅上線 口宮の沢橋			
本曾郡 大桑村 大字須原			
設計会社	株式会社 長野技研		
測量会社			
調査会社			
大桑村役場			

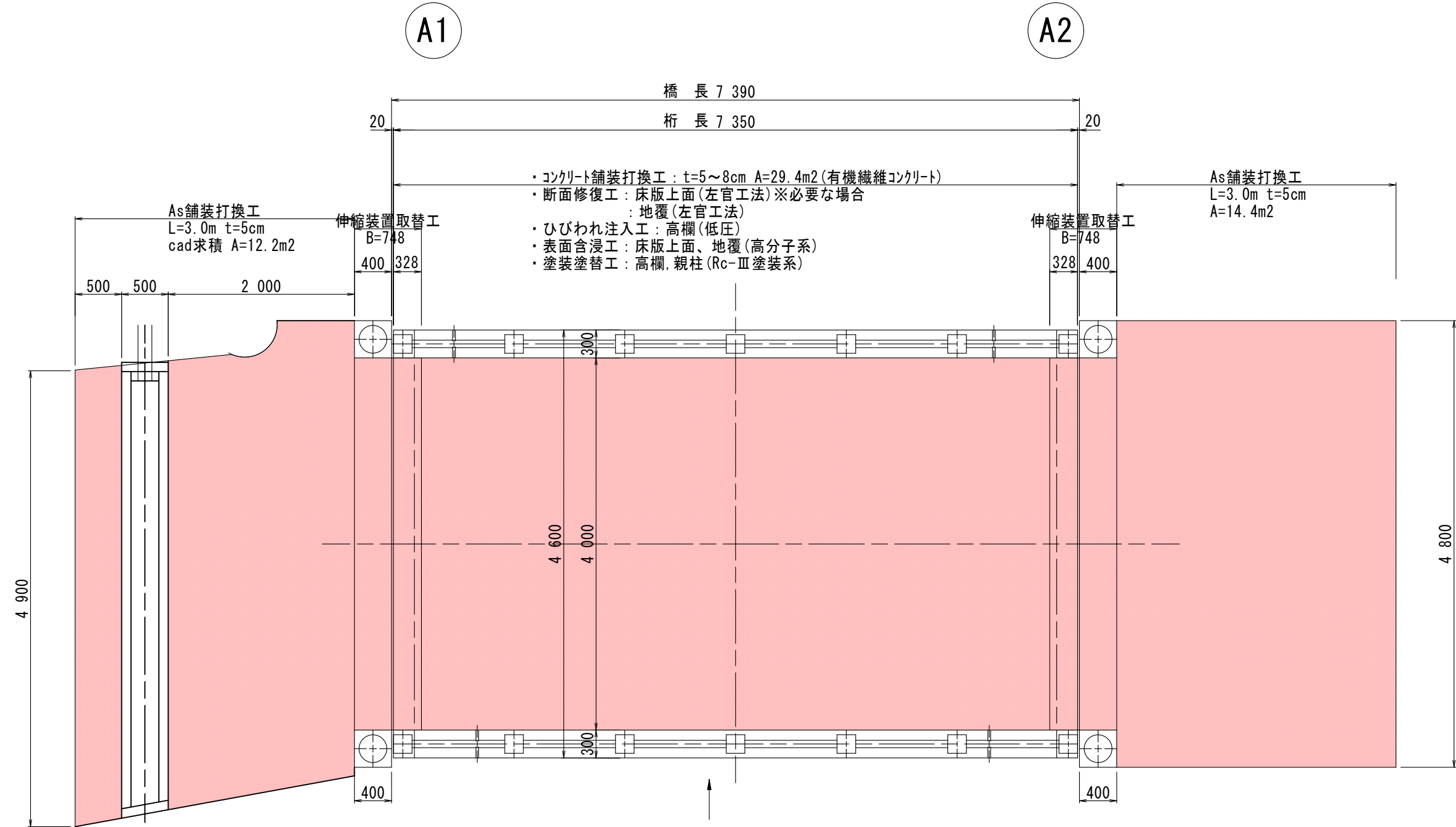
口宮の沢橋 上部工補修図(1)

舗装打換工

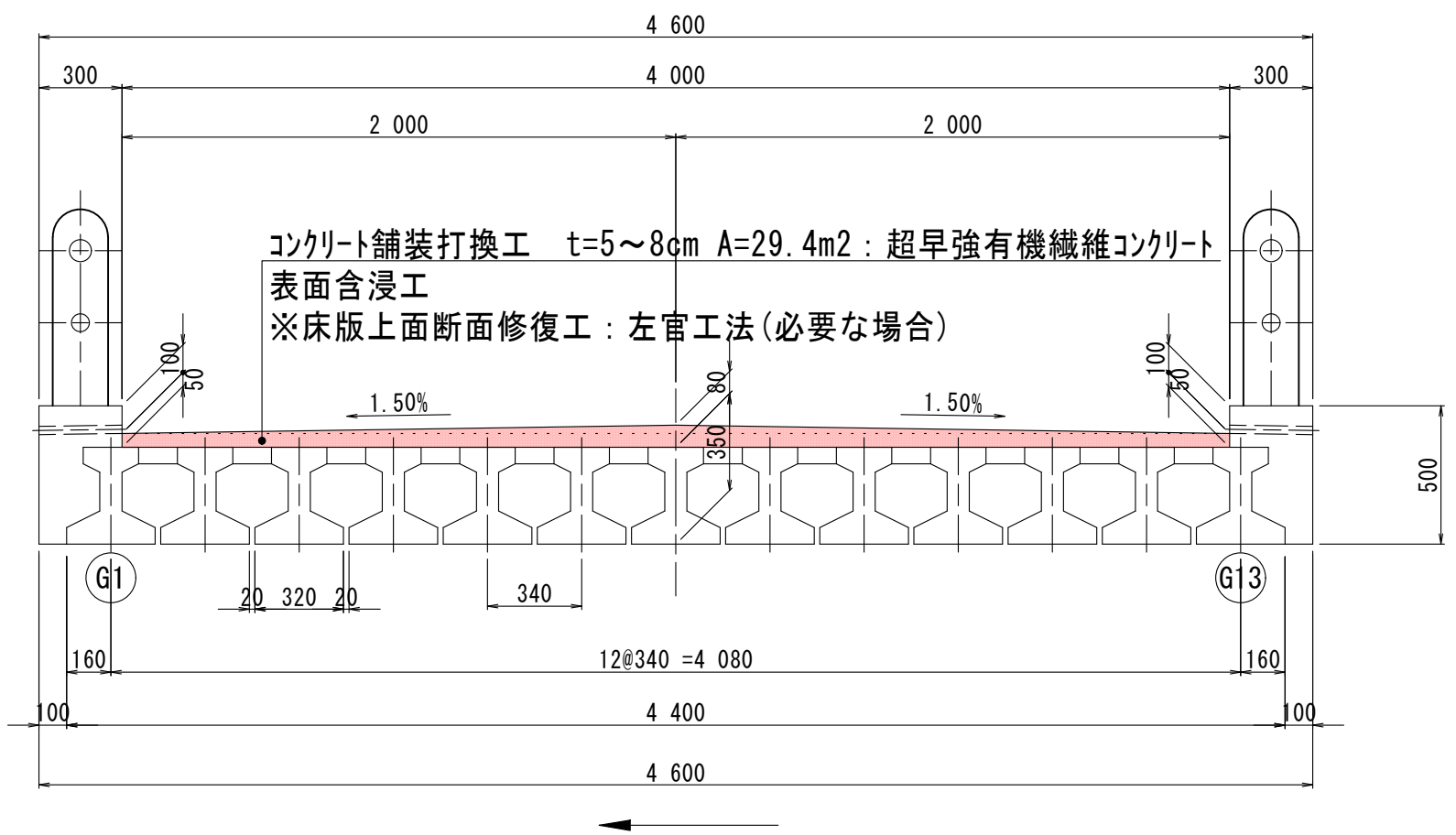
撤去平面図 S=1:50



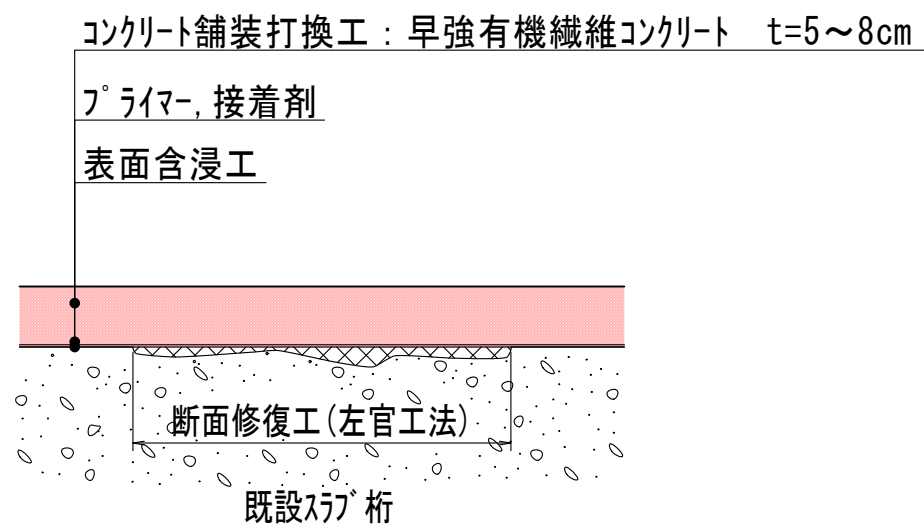
補修平面図 S=1:50



上部工断面図 S=1:25



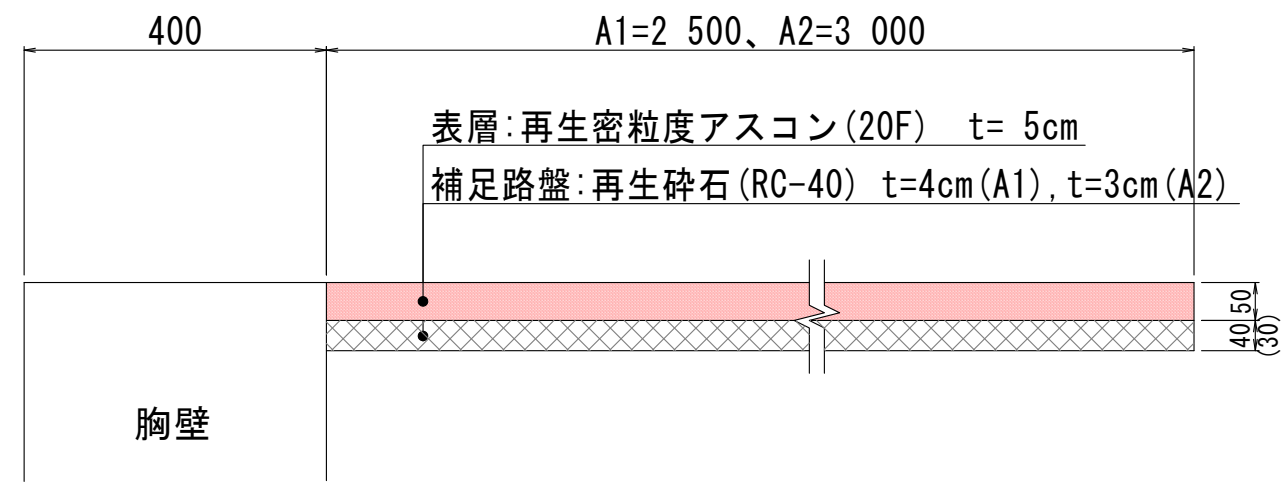
橋面舗装構成図



- ・舗装版撤去工 Con舗装 (t=5~8cm) A= 7.35 × 4.0 =29.4 m2
- ・表面含浸工 A= 7.35 × 4.0 =29.4 m2
- ・舗装工 Con舗装 (t=5~8cm) A= 7.35 × 4.0 =29.4 m2

※打換範囲は、現地にて監督員と確認の上最終決定すること。

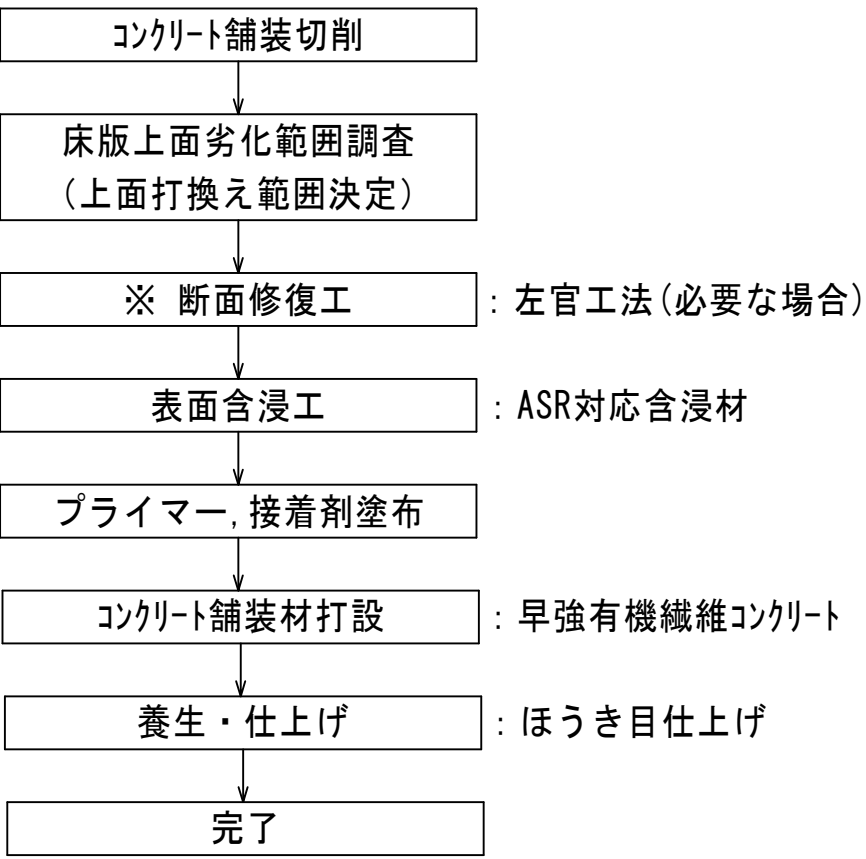
取付道路舗装構成図



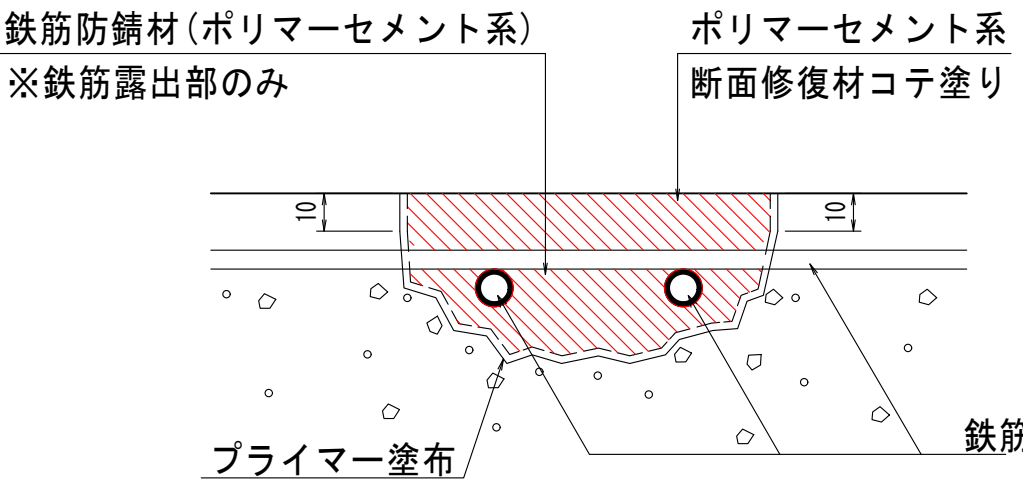
- ・舗装版切断工 As舗装 (t=5cm) L= 4.9+ 4.8 = 9.7 m
- ・舗装版撤去工 As舗装 (t=5cm) A= 14.6+14.4 =29.0 m2
- ・舗装工 As舗装 (t=5cm) A= 12.2+14.4 =26.6 m2
- ・路盤材補充 RC-40 (t=4cm) A= 12.2+14.4 =26.6 m2

※打換範囲は、現地にて監督員と確認の上最終決定すること。

コンクリート舗装打換工
施工手順



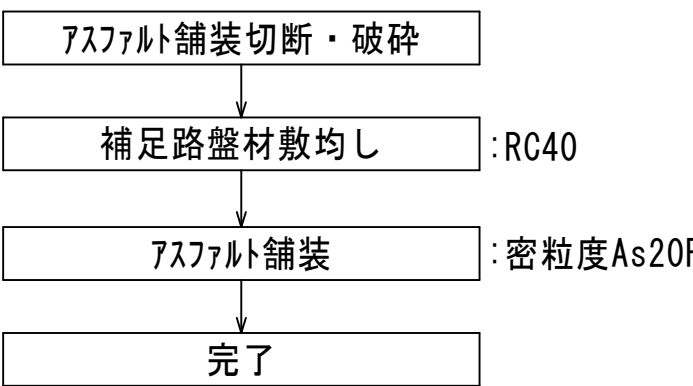
断面修復工 ※必要な場合
左官工法



- ・はつり 上面面積の5% A=29.4 × 5% = 1.47 m2
- ・防錆剤塗布 はつりの2% A= 1.47 × 0.02 = 0.03 m2
- ・ポリマーセメント t=2cm V= 1.47 × 0.02 = 0.03 m3

※断面修復工は、舗装撤去後必要な場合に行う。
※範囲は、現場にて監督員と協議の上決定する。
※本設計では推定で、舗装面積の5%、厚さ2cmを計上する。
※工法の詳細は、コンクリート補修工標準図参照。

取付道路
アスファルト舗装打換工
施工手順

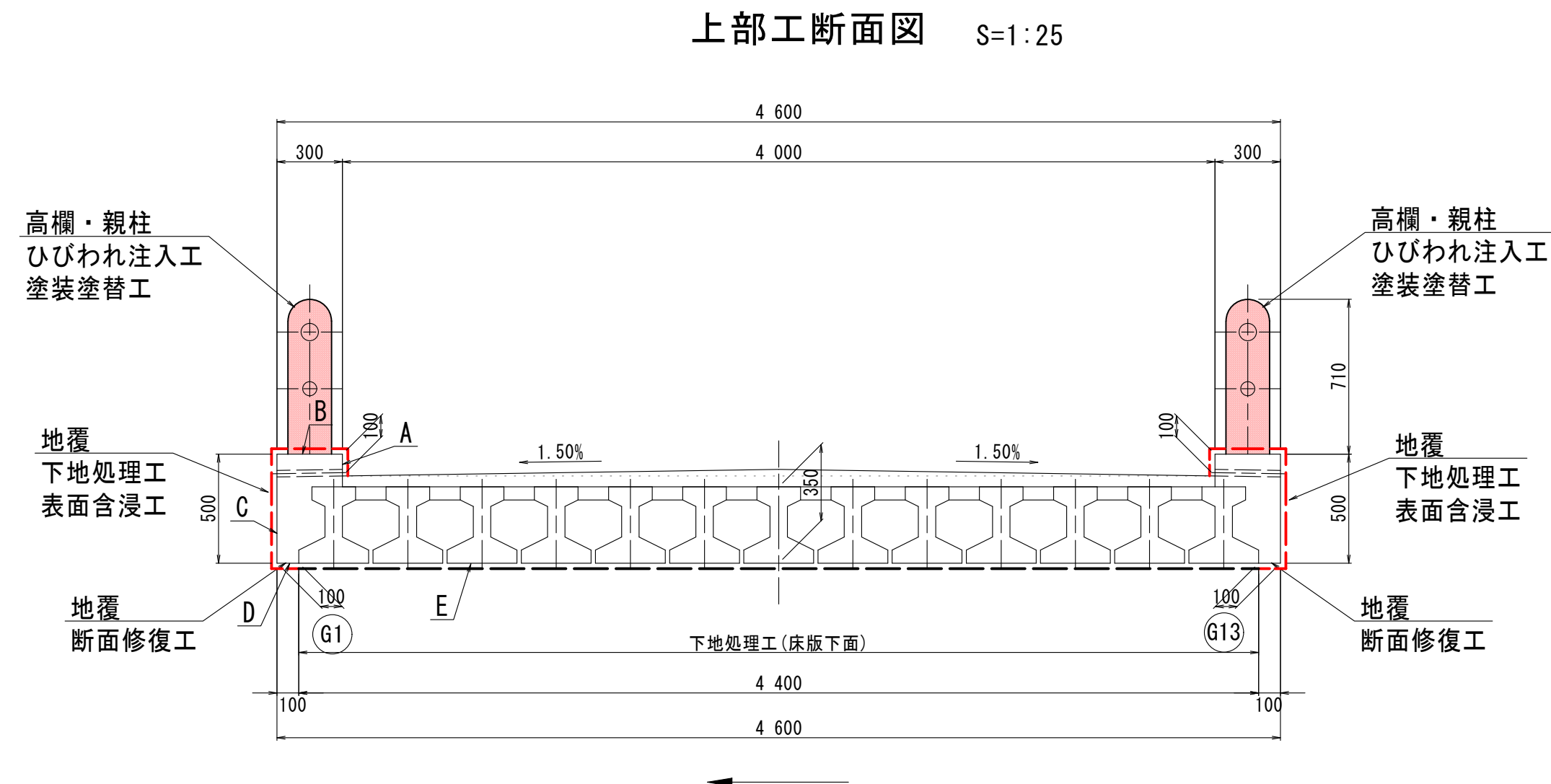
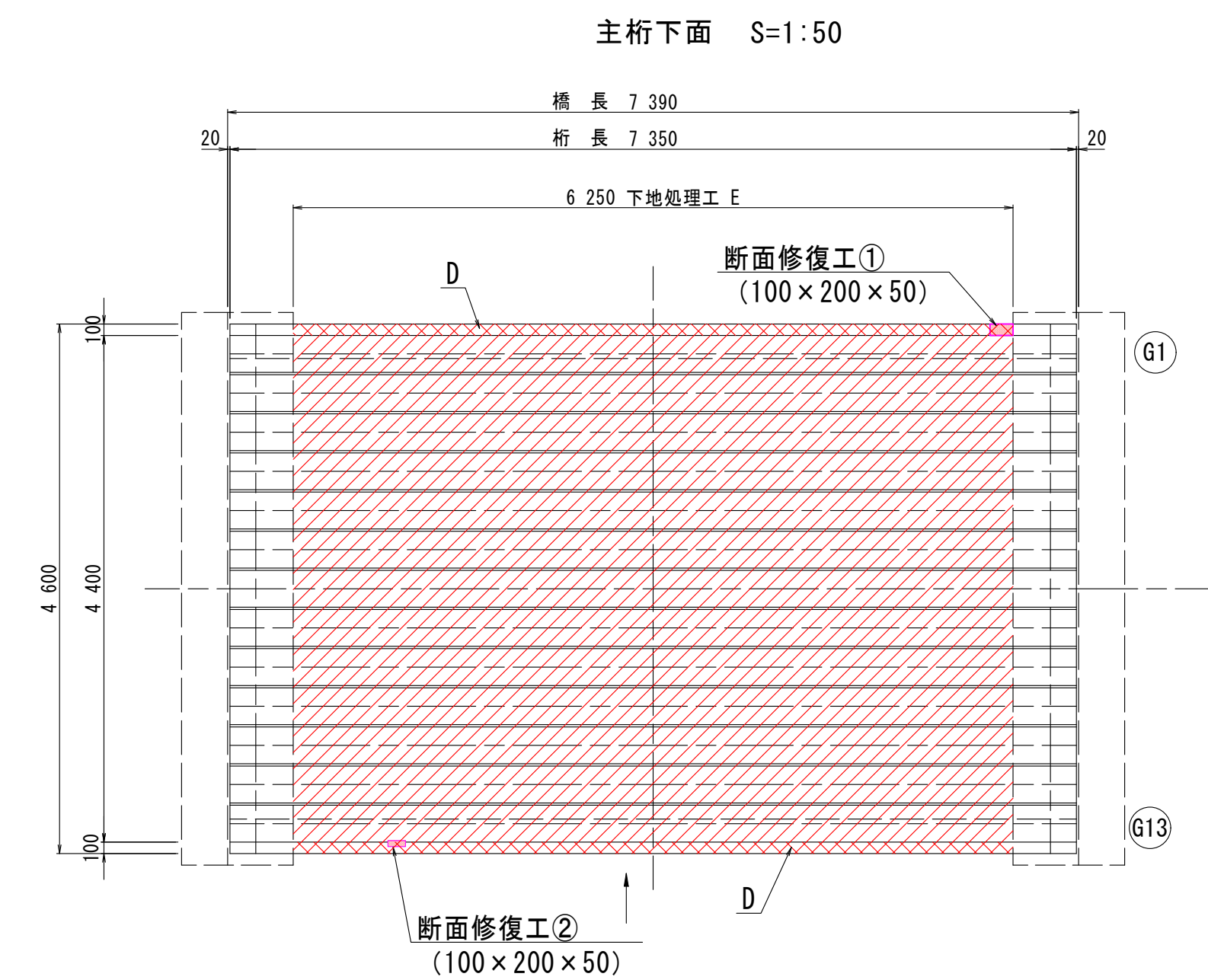
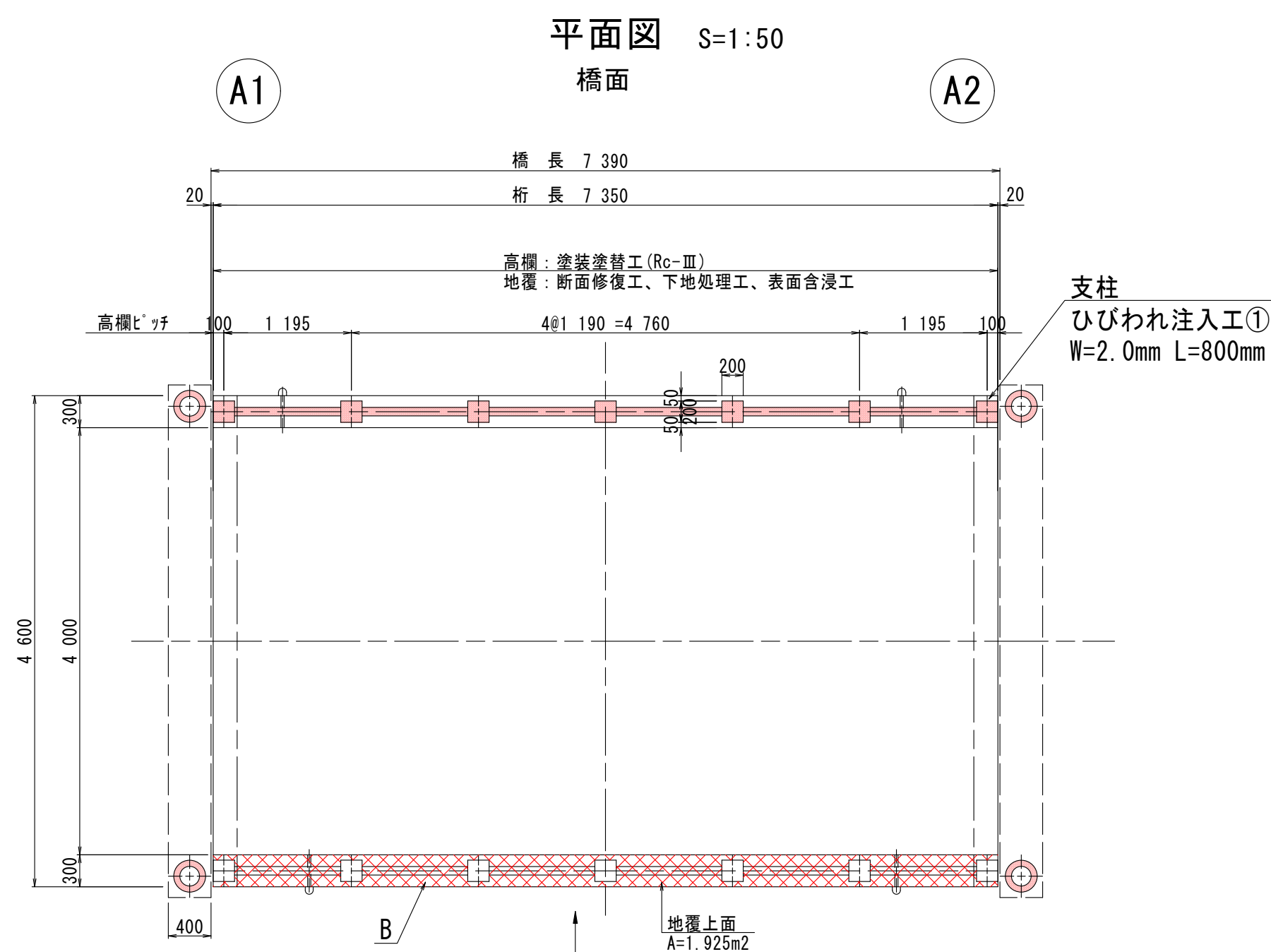
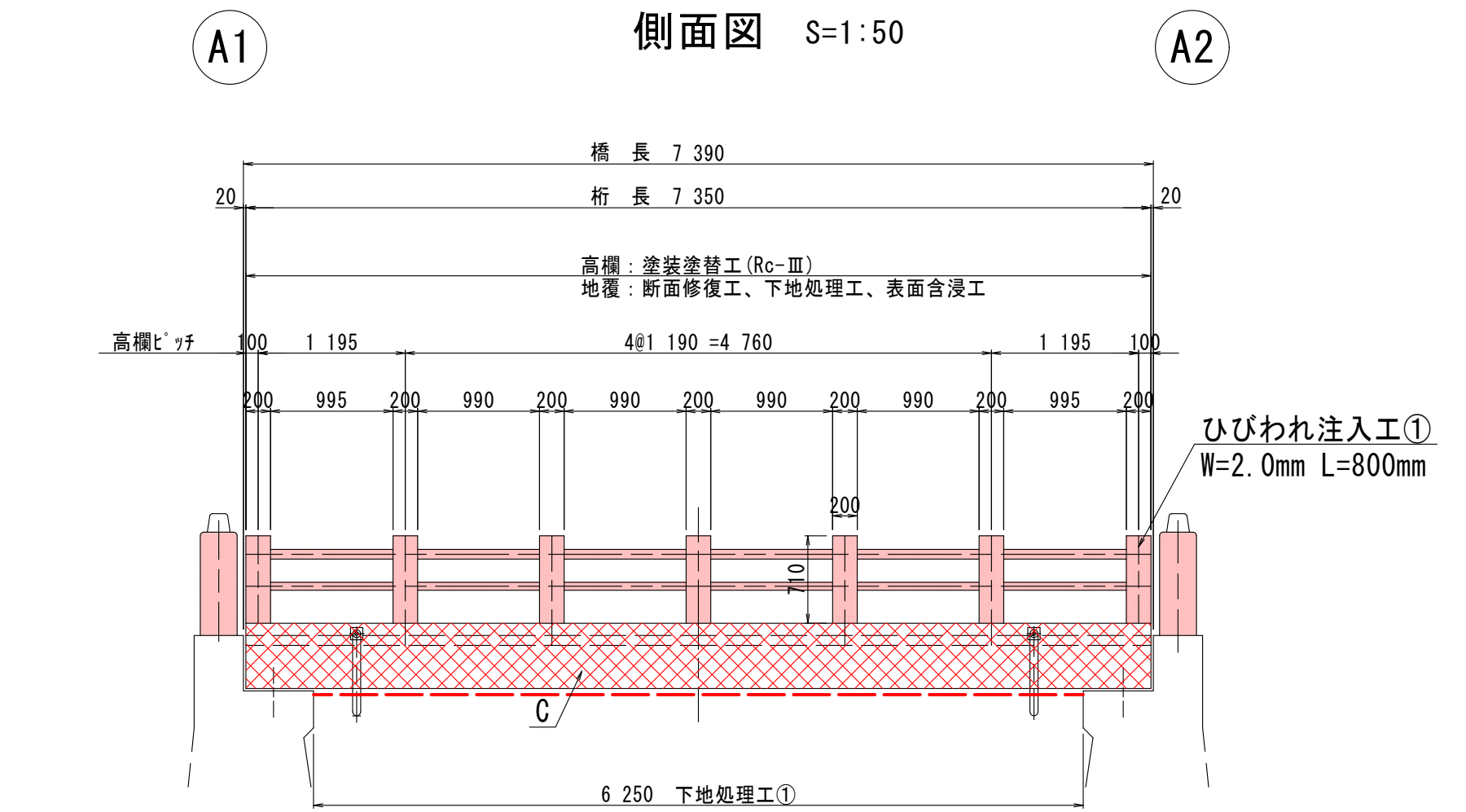


実施図

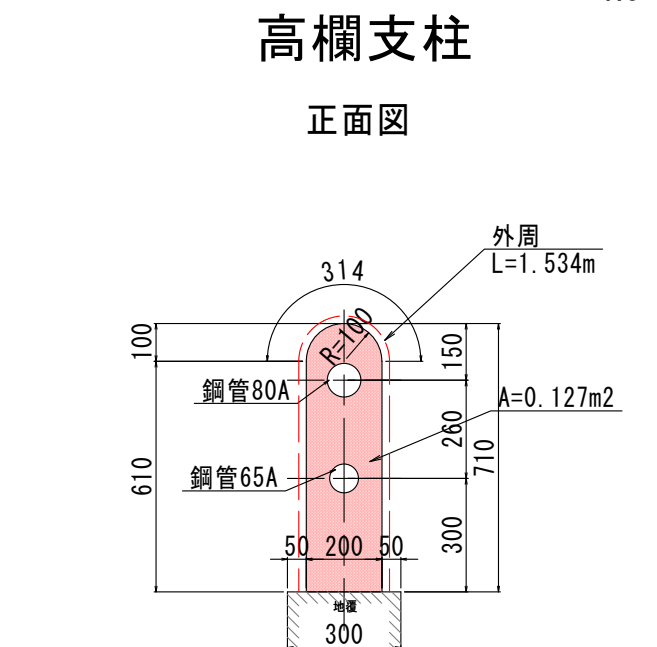
令和7年度 口宮の沢橋修繕工事					
番号	2 / 8	上部工補修図(1)	縮尺	図示	
村道須原駅上線 口宮の沢橋					
木曽郡 大桑村 大字須原					
設計会社	株式会社 長野技研				
測量会社					
調査会社					
大桑村役場					

口宮の沢橋 上部工補修図(2)

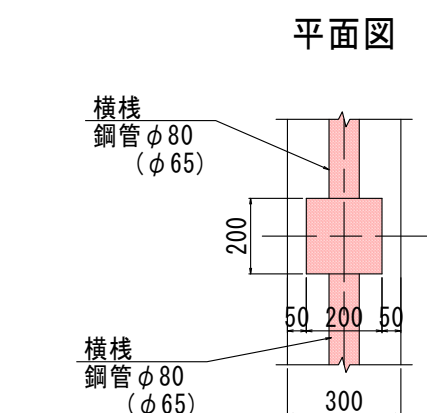
断面修復工, ひびわれ注入工, 塗装塗替工, 表面含浸工, 下地処理工



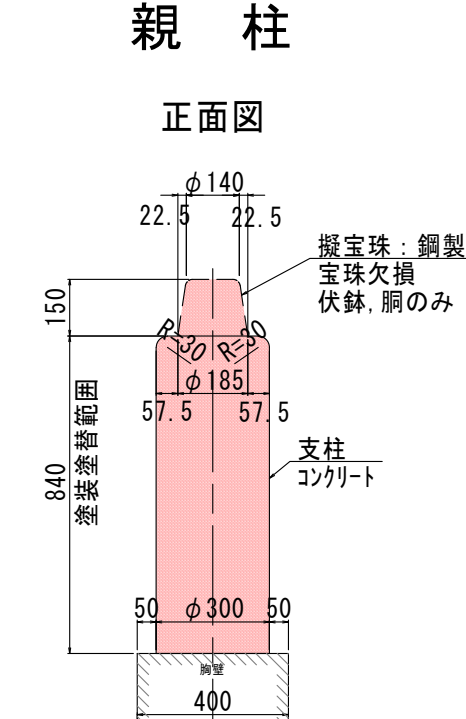
塗装塗替工 Rc-Ⅲ塗装系



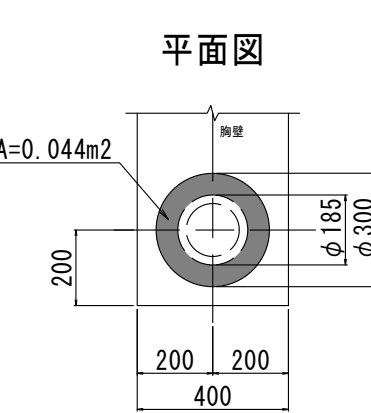
・支柱表面積 (1基当り)
 $A = 1.534 \times 0.2 + 0.127 \times 2 = 0.56 \text{ m}^2$



親柱 S=1:20



・支柱表面積 (1基当り)
 $A = 4/\pi \times 0.3^2 \times 0.84 + 0.044 = 0.14 \text{ m}^2$



断面修復工数量表 (左官工法)

番号	長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	面積 (m ²)	体積 (m ³)
①	0.10	0.20	0.05	0.020	0.001
②	0.10	0.20	0.05	0.020	0.001
合計				0.040	0.002

表面含浸工数量表

番号	長さ (m)	幅 (m)	面積 (m ²)	面数	面積 (m ²)
A	7.35	0.10	0.735	2	1.470
B	cad求積		1.925	2	3.850
C	7.35	0.50	3.675	2	7.350
D	6.25	0.10	0.625	2	1.250
計					13.920

下地処理工

番号	長さ (m)	幅 (m)	面積 (m ²)	面数	面積 (m ²)
A	7.35	0.10	0.735	2	1.470
B	cad求積		1.925	2	3.850
C	7.35	0.50	3.675	2	7.350
D	6.25	0.10	0.625	2	1.250
計					13.920
E	6.25	4.40	27.500	1	27.500
合計					41.420

ひびわれ注入工数量表

位置	番号	幅 (mm)	長さ (mm)
高欄支柱	①	2.0	800
	計		800

※共通

- ・上記計上ひびわれは目視確認による延長
- ・過年の工事実績より、洗浄後確認される延長は増加すると予測される

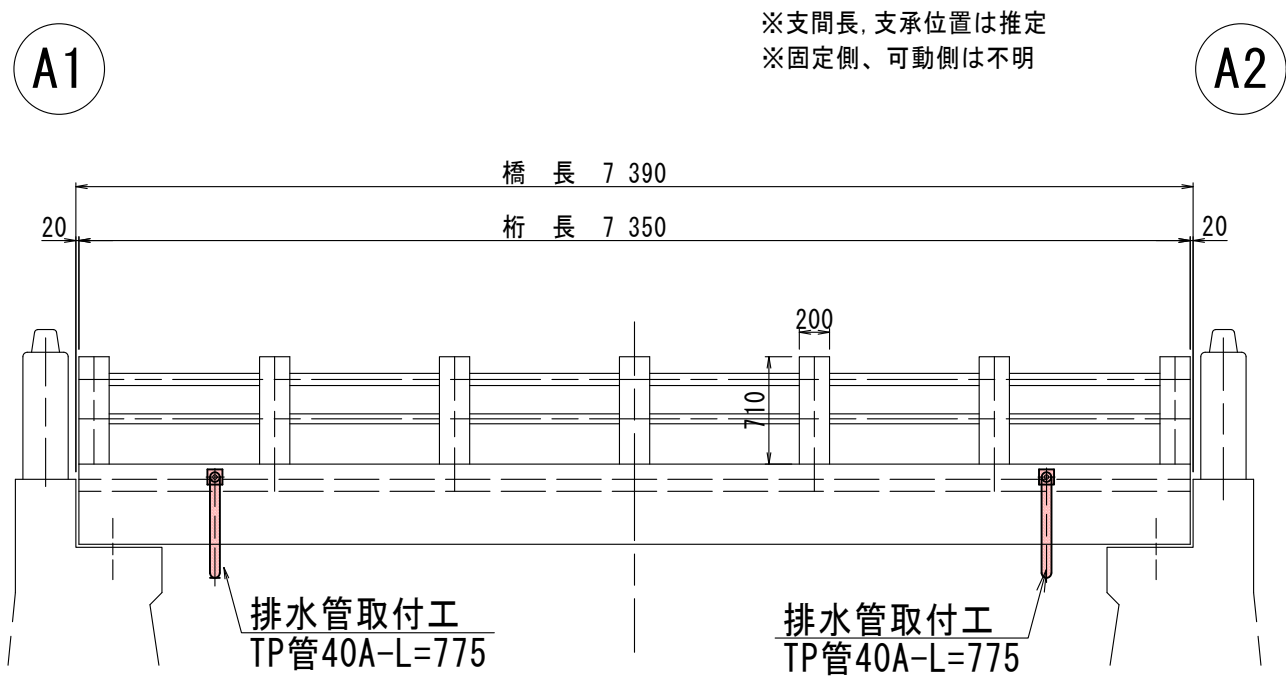
実施図

令和7年度 口宮の沢橋修繕工事				
番号	3 / 8	上部工補修図(2)	縮尺	図示
村道須原駅上線 口宮の沢橋				
木曽郡 大桑村 大字須原				
設計会社	株式会社 長野技研			
測量会社				
調査会社				
大桑村役場				

口宮の沢橋 上部工補修図(3)

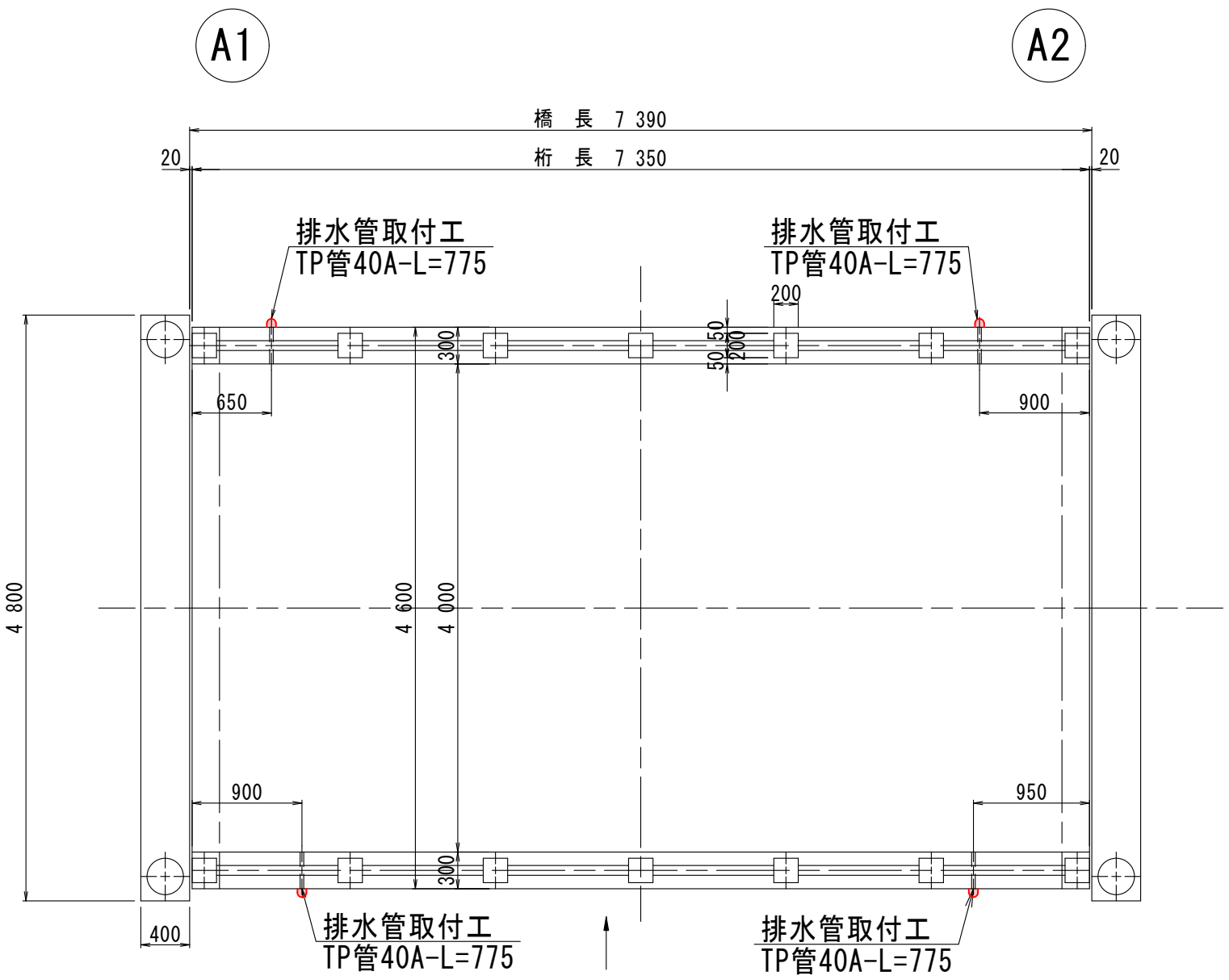
排水管取付工、水切工

側面図 S=1:50

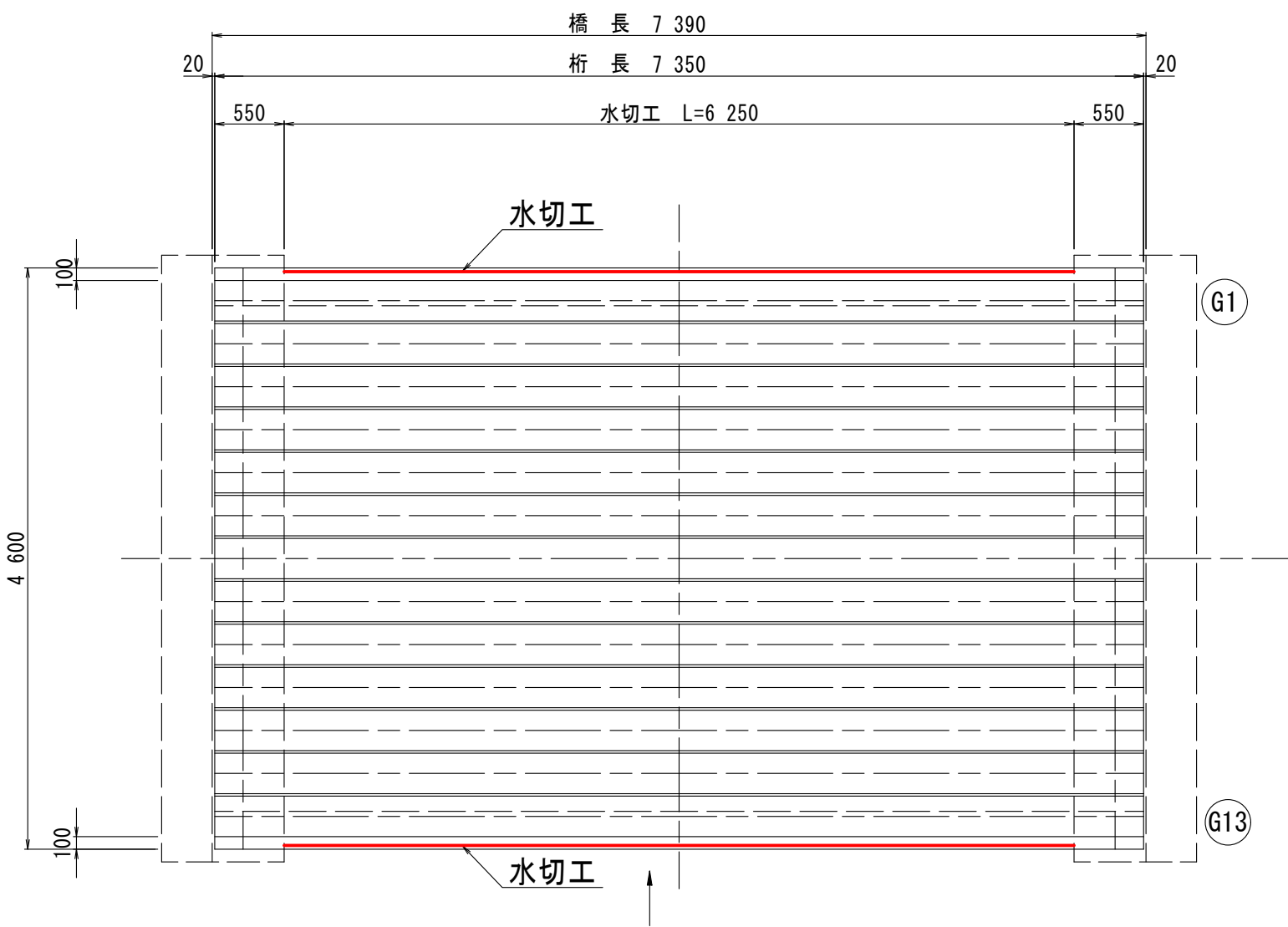


平面図 S=1:50

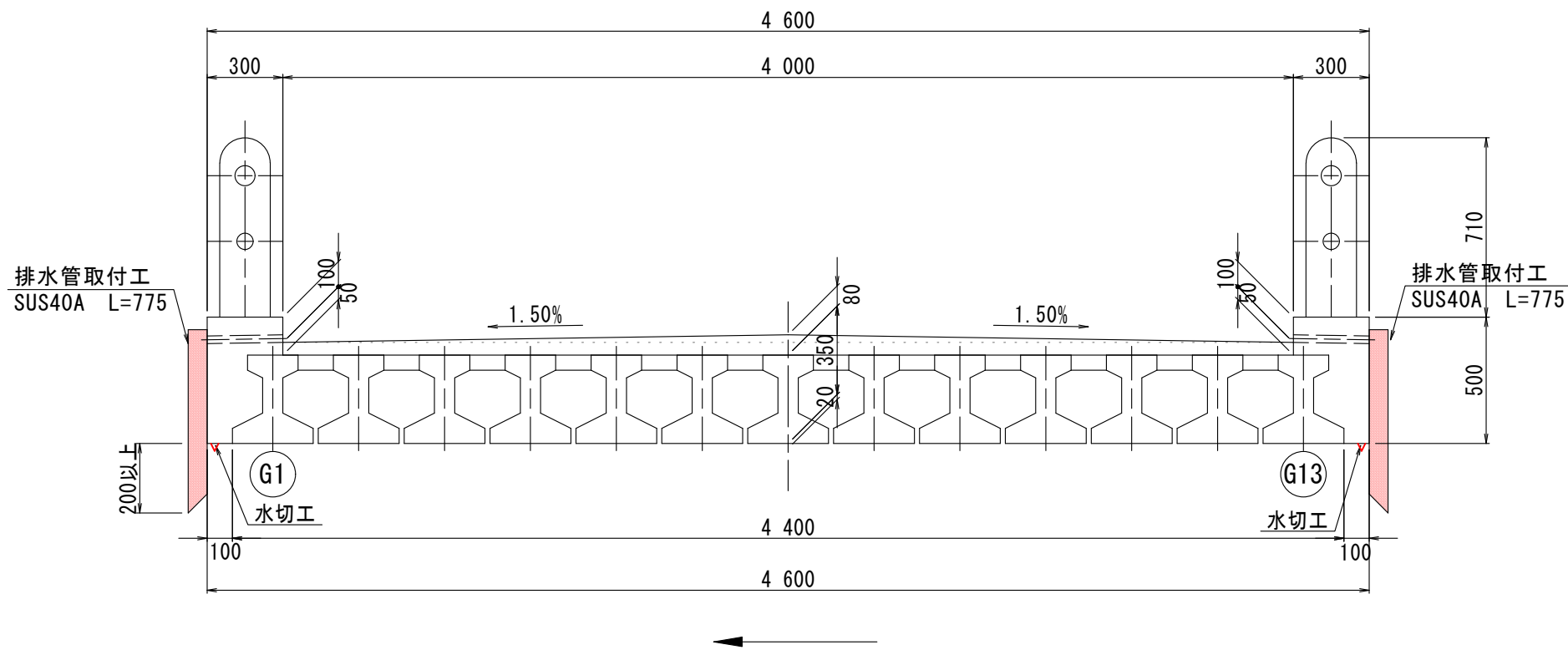
橋面



主桁下面 S=1:50



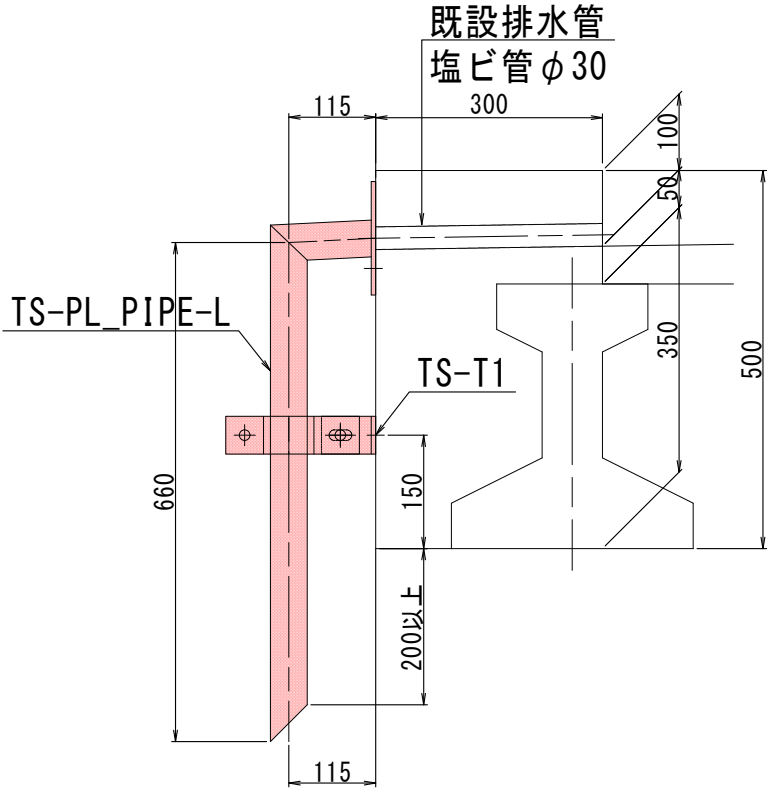
上部工断面図 S=1:25



排水管取付工 S=1:10

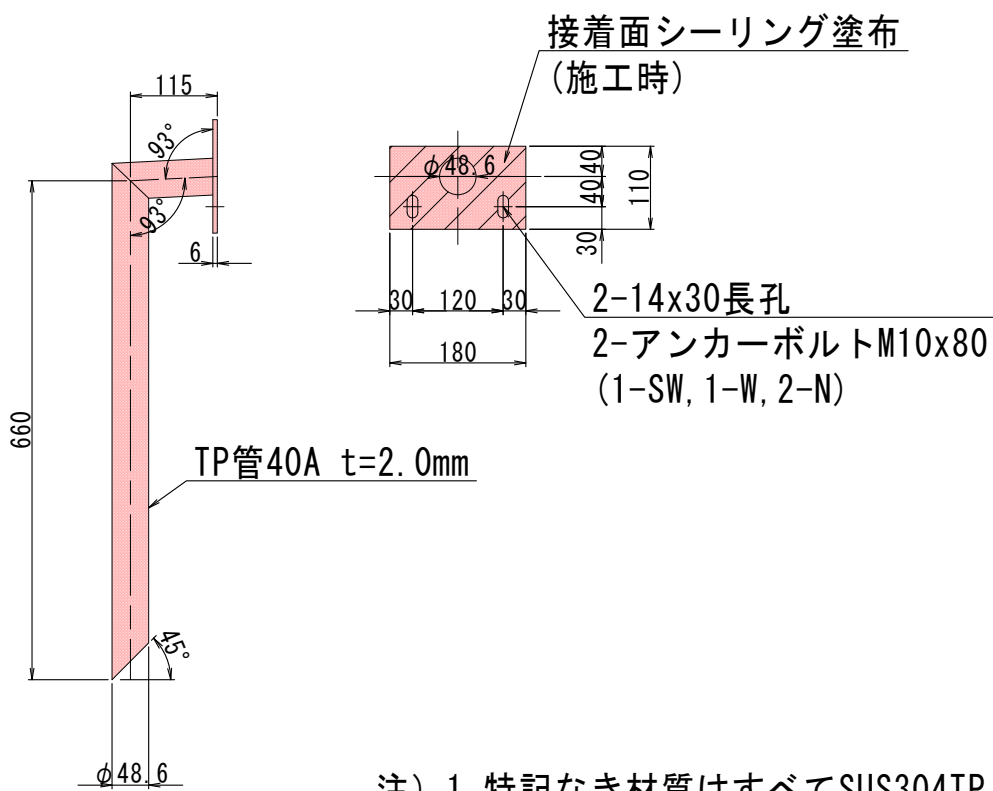
TSステンレス排水装置 同等品

断面図



天板プレート型排水装置

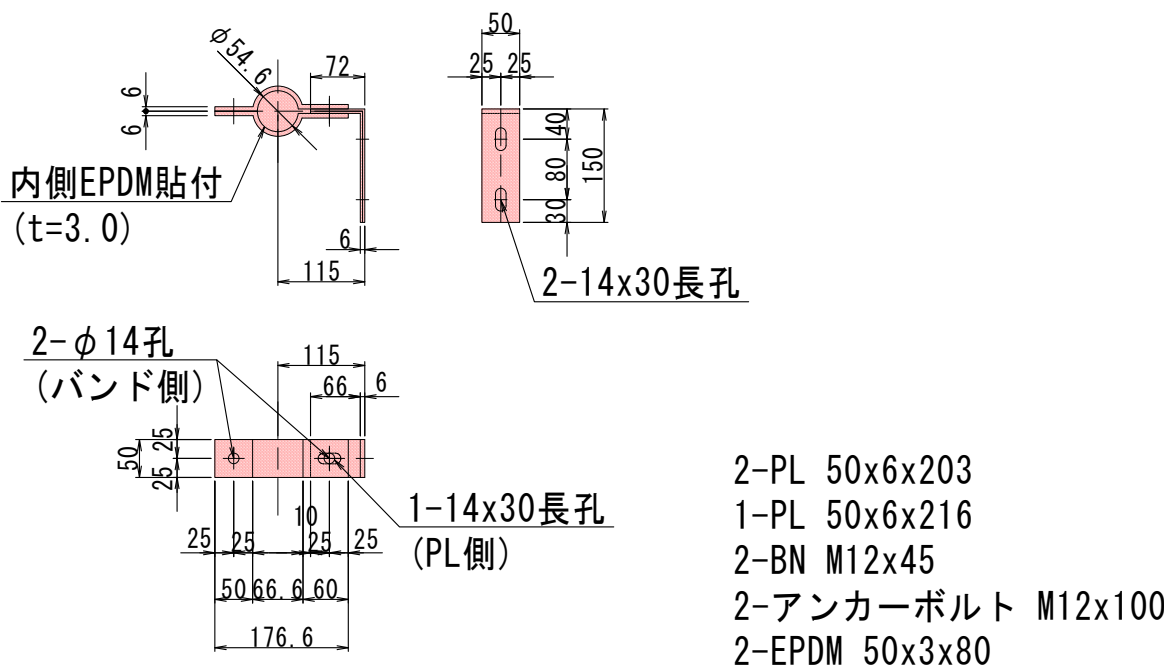
TS-PL_PIPE-L 製作数=4



取付金具詳細図

TS-T1 (TP管40A用)

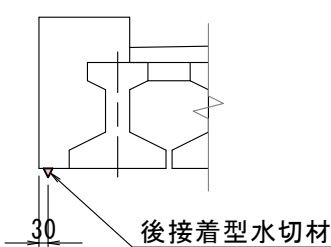
製作数=4



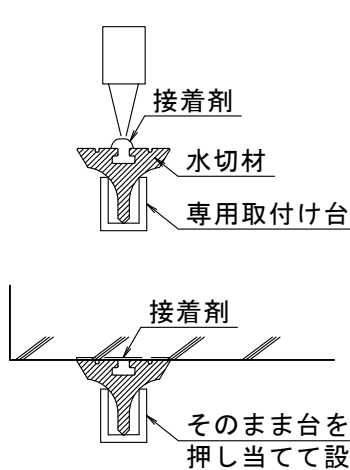
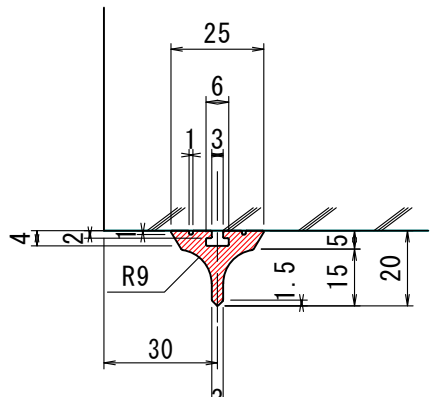
- 注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304TPとする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. 天板プレート型排水装置は、NETIS No. CB-190003-Aに準ずる。
4. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
5. 現地調査にて寸法確定後製作する。

水切工

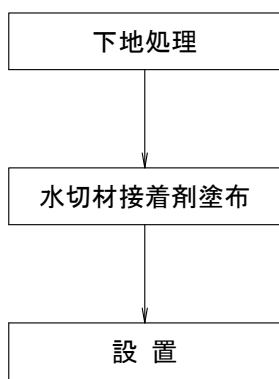
断面図 S=1:25



詳細断面図 S=1:2



施工手順



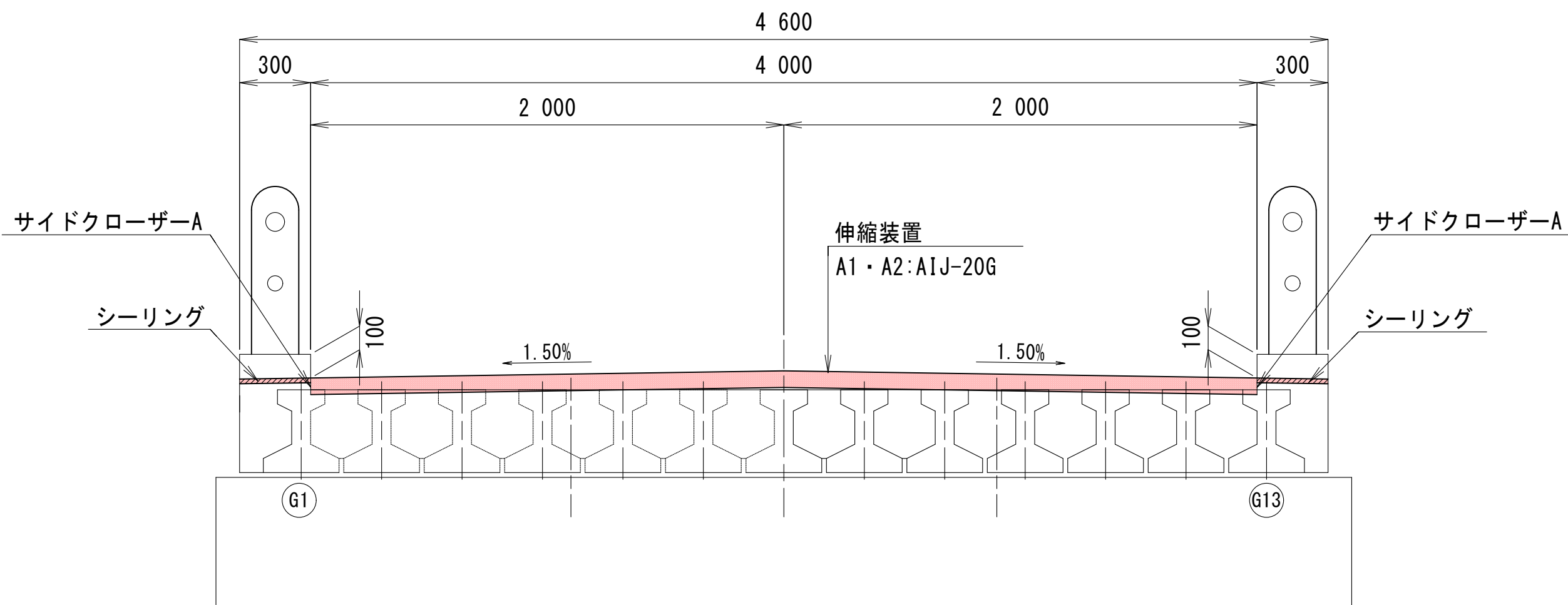
実施図

令和7年度 口宮の沢橋修繕工事					
番号	4 / 8	上部工補修図(3)	縮尺	図示	
村道須原駅上線 口宮の沢橋					
木曽郡 大桑村 大字須原					
設計会社	株式会社 長野技研				
測量会社					
調査会社					
大桑村役場					

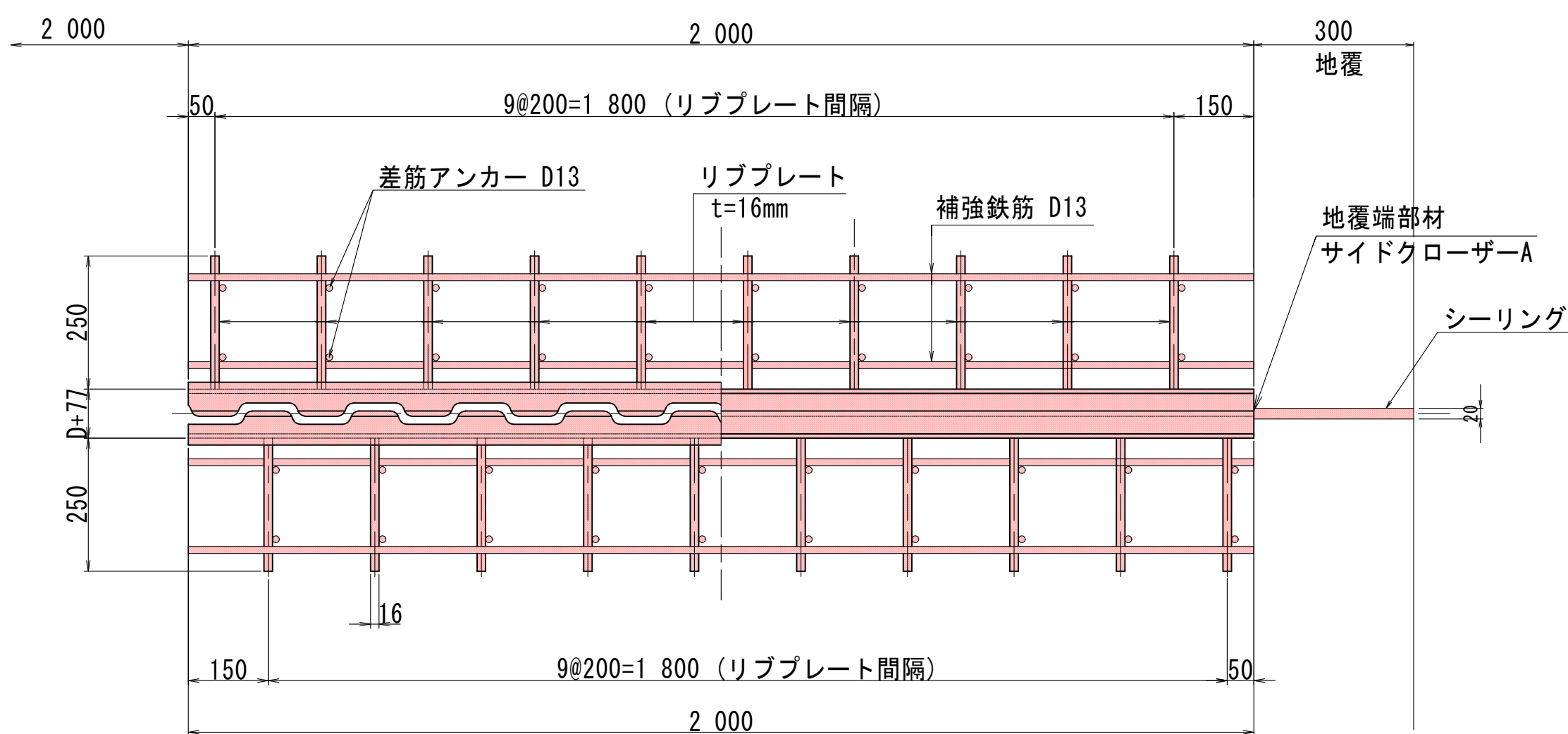
口宮の沢橋 上部工補修図(4)

伸縮装置取替工、地覆端部止水工

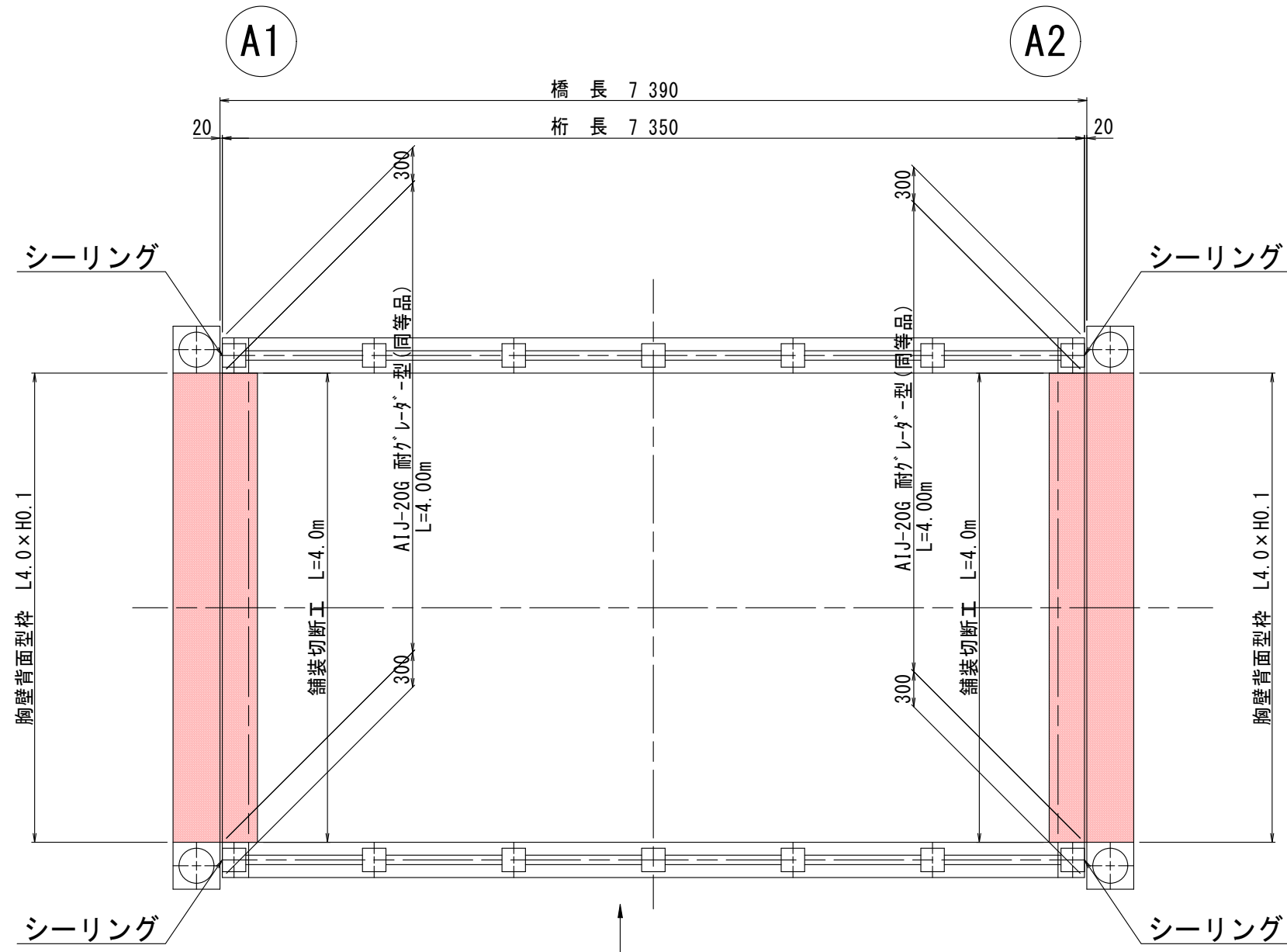
断面図 S=1:20



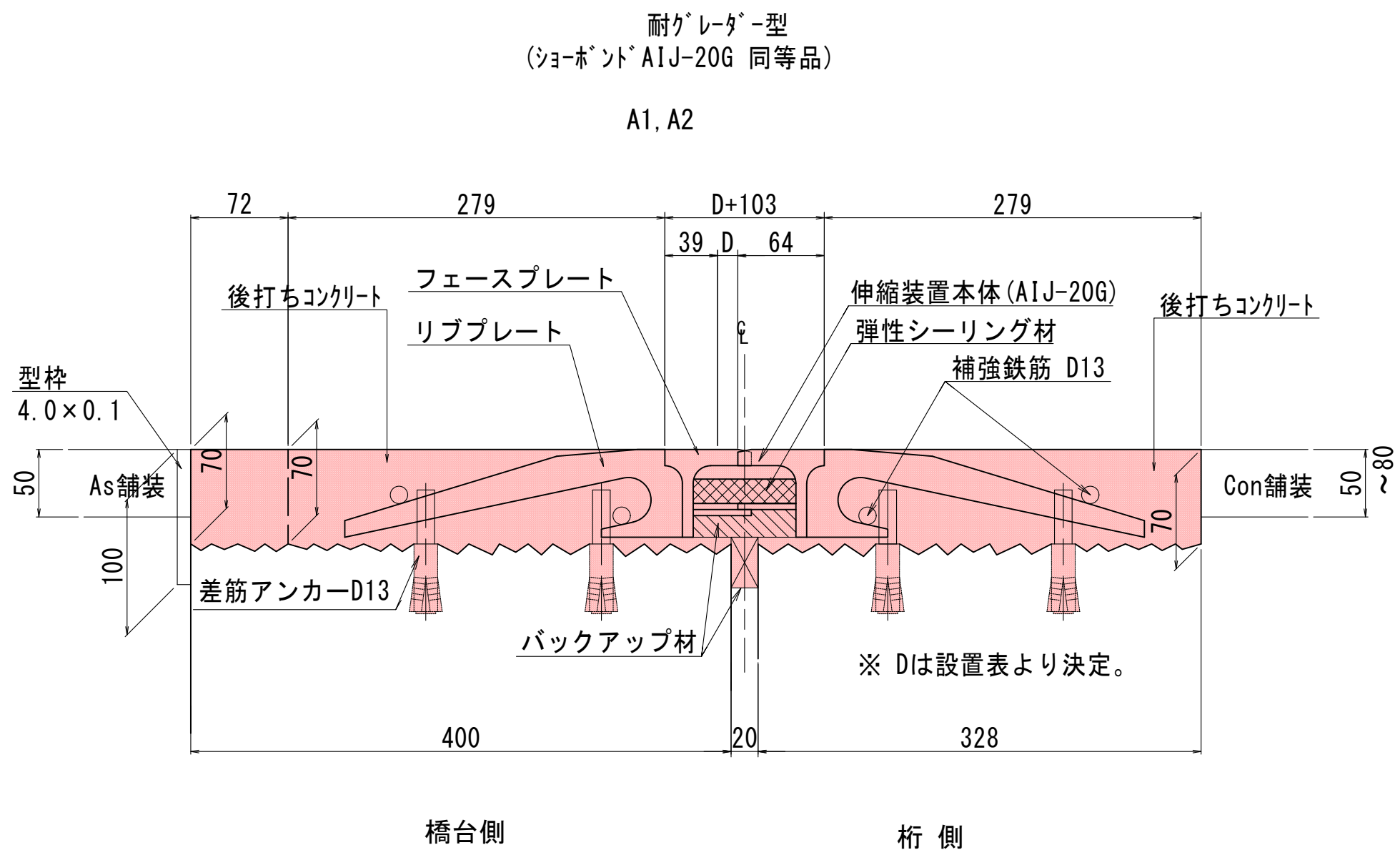
平面図 S=1:10



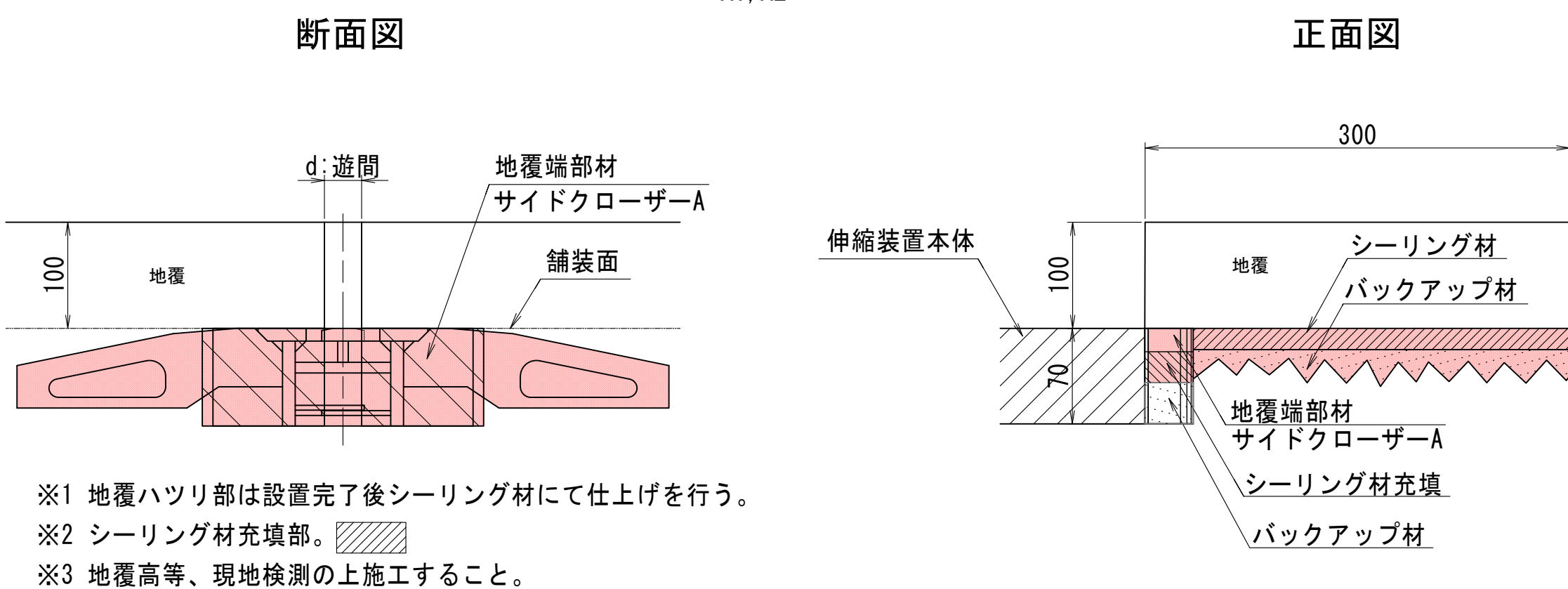
配置図 S=1:50



伸縮継手断面図 S=1:4

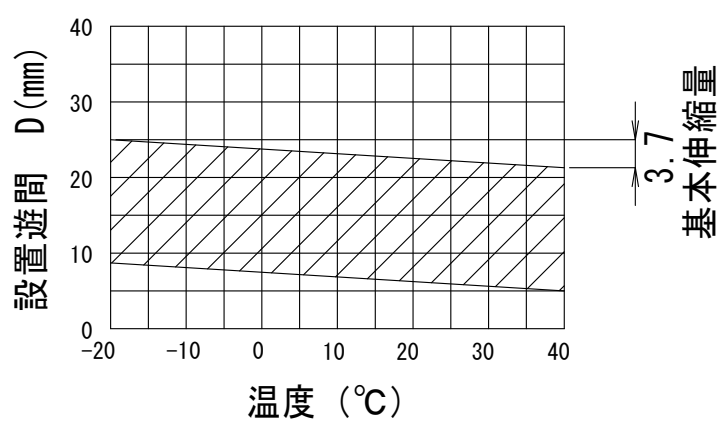


地覆端部詳細図 S=1:5



設置表

A1・A2

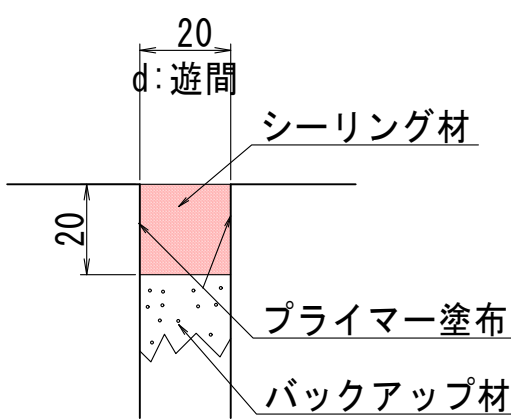


基本伸縮量
ΔL=0.5×7.350m=3.7mm

※ 現場実測の上、寸法決定を行うこと。

実施図

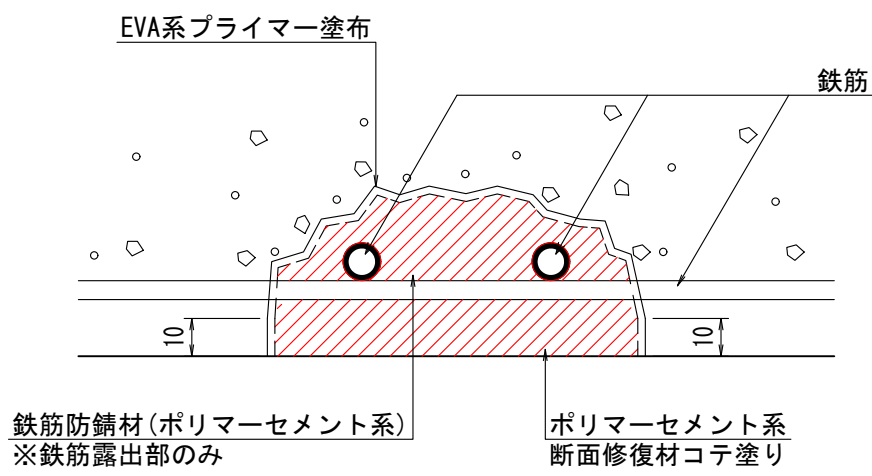
地覆処理要領図 S=non



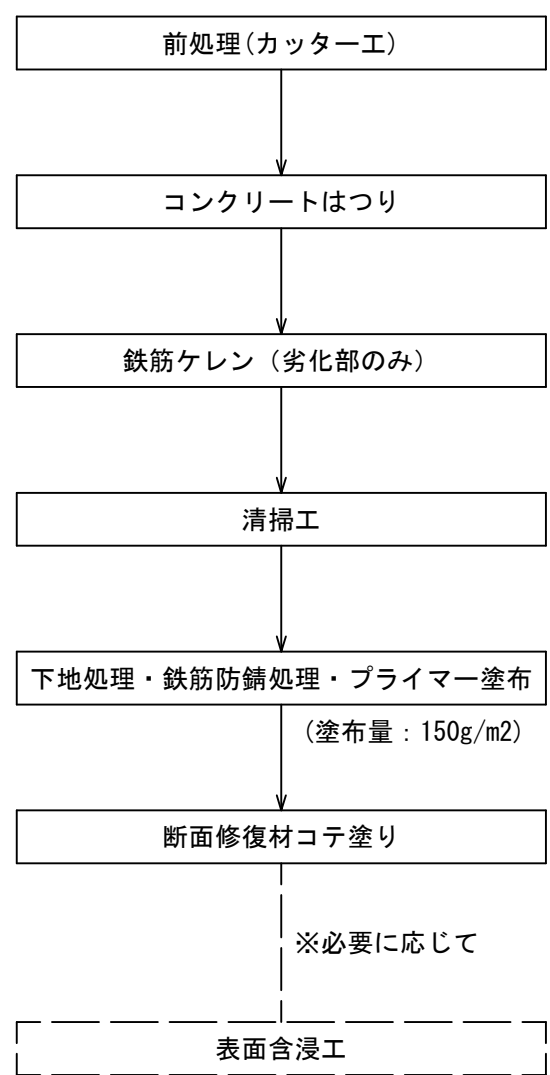
口宮の沢橋 コンクリート補修工標準図

断面修復工

＜ 左官工法 ＞



施工手順



注) 1. 劣化、不良コンクリートのハツリは、フェザーエッジが生じないように及び健全部に損傷を与えないよう、周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターにより切断目地を入れ、入念に施工する。

2. 使用材料 ー 断面修復材
無収縮ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針（案）
【工法別マニュアル編】H17土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

力 学 的 性 能	
要求性能	設 計 お よ び 施 工 条 件
圧縮強度	躯体コンクリートと同等な強度特性を有すること (圧縮強度は、特記仕様書による)
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.0N/mm2以上)

3. 鉄筋露出部は、ハツリ出して鉄筋の防錆処理後、パテ補修する。
剥離・ジャンカ部は、浮き、脆弱部分をハツリ取り、鉄筋が見えた場合は、鉄筋防錆処理後、欠損断面をパテ補修する。
鉄筋が大きく腐食している箇所の補修対策は、監督員との協議により決定する。

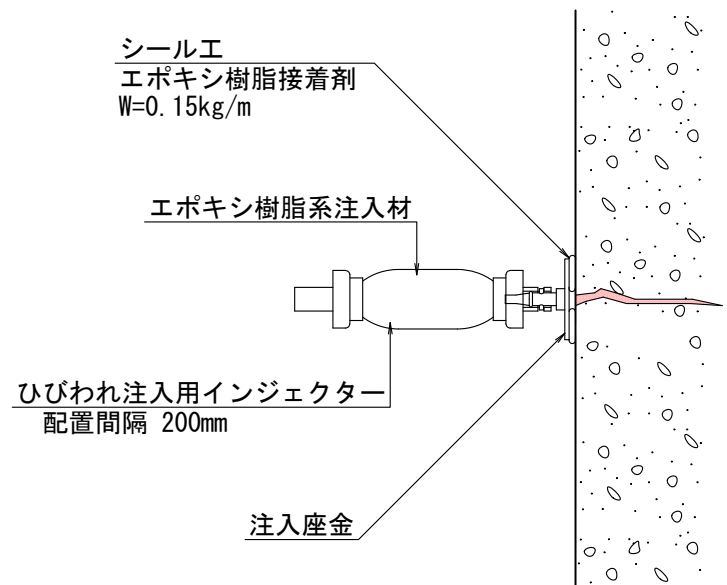
補修部縁端は、フェザーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れる。
使用する補修剤は、コンクリートとの一体性がよく、同等の強度および熱膨張係数を有する材料を選定する。
補修箇所の寸法は、現場計測にて再度確認すること。

鉄筋コンクリート補修用防錆材の品質基準

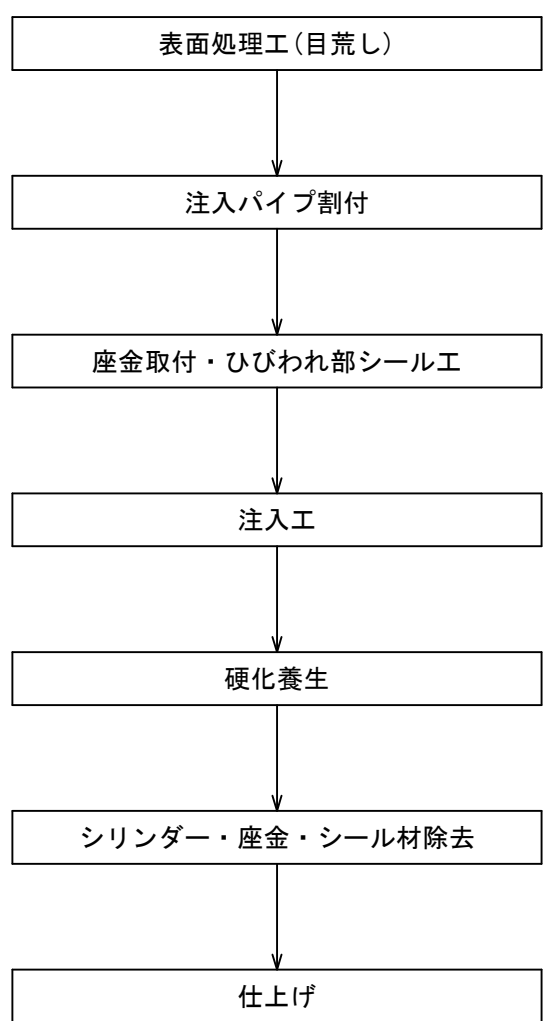
項 目		基 準 値
弱アルカリ性		塗膜に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ (N/mm2)		7.8以上
防せい性	処理部	防せい率：50％以上
	未処理部	防せい率：－10％以上 ※

※未処理部の防せい率は、防せい材で処理することによって、マクロセルを形成し、基材部の鉄筋腐食を促進するようなものであってはならず、比較用モルタルの発生率とほぼ同等以下とし、発生率で+10％以下（＝防せい率で－10％以上）とした。

ひび割れ注入工



施工手順



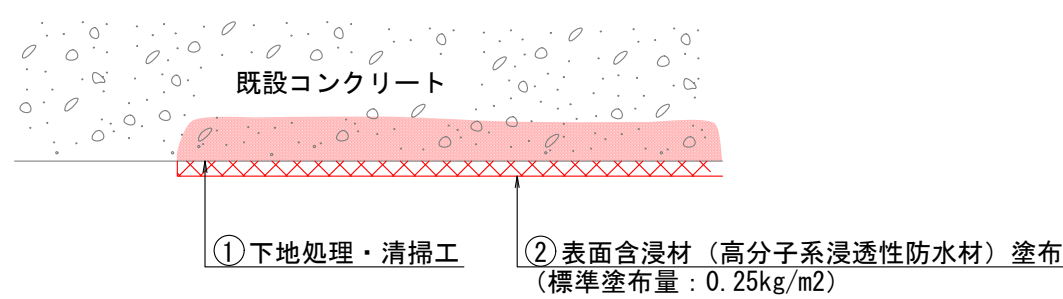
注) ・ひびわれ注入深さは、50mmを想定しているが、ひびわれ最深部まで確実に注入すること。

・注入パイプの間隔は、200mm程度とする。

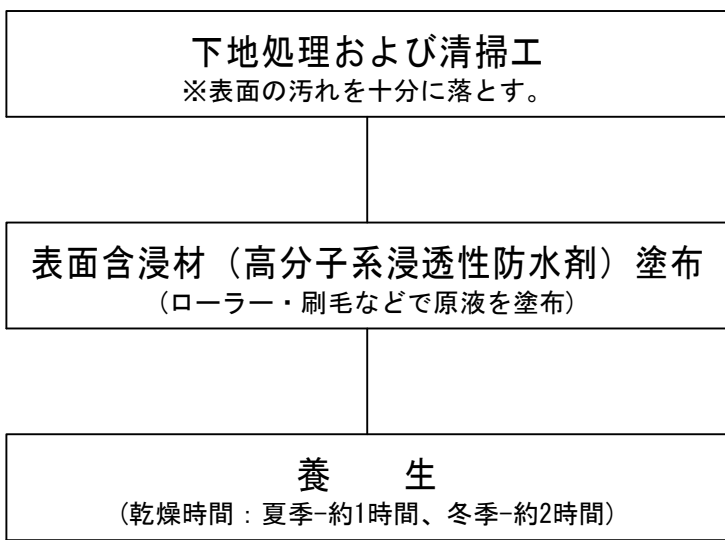
・ひびわれ注入箇所について、足場架設後、再調査し、施工箇所を決定すること。

・注入材料は、可とう性注入用エポキシ樹脂で、国土交通省土木補修用エポキシ樹脂注入材の適合材を使用すること。

表面含浸工



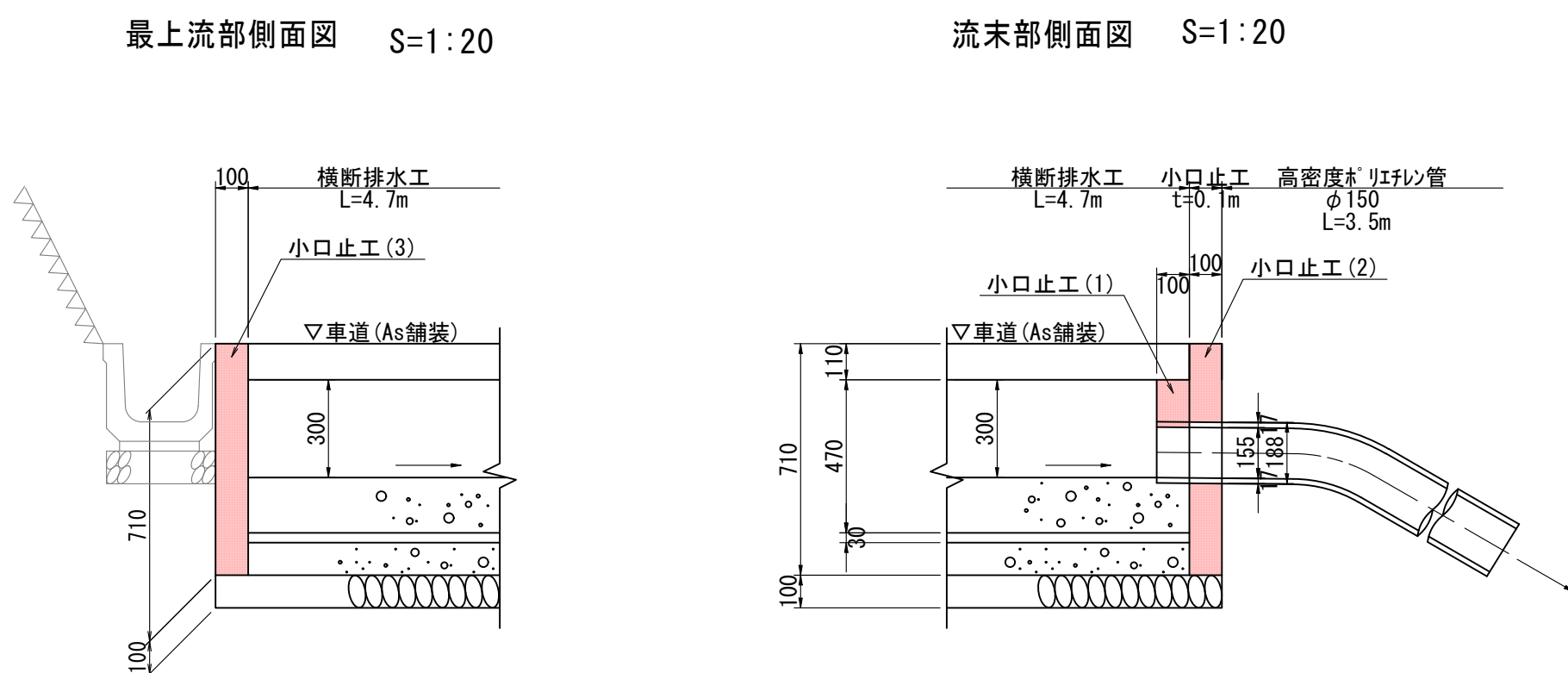
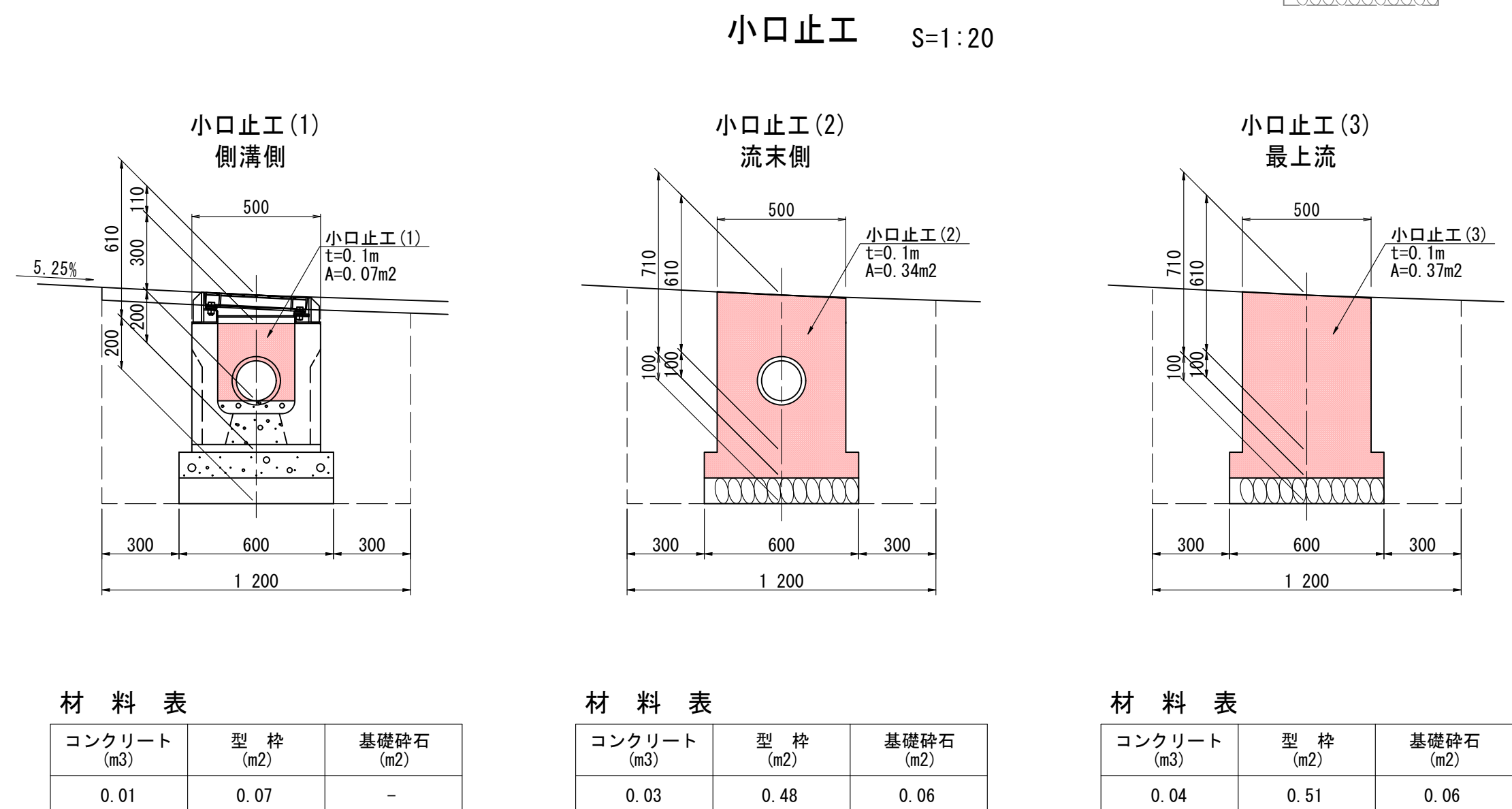
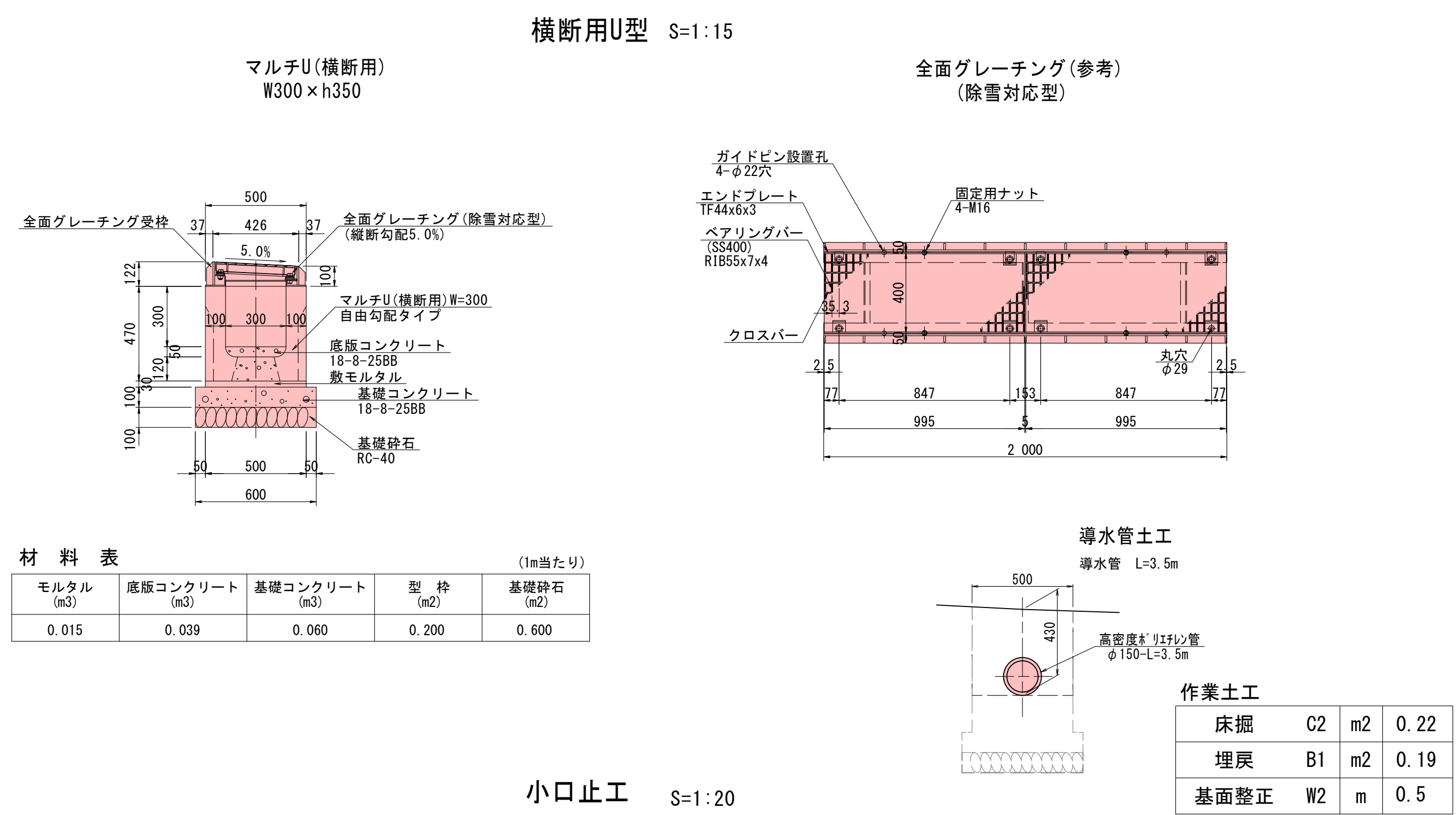
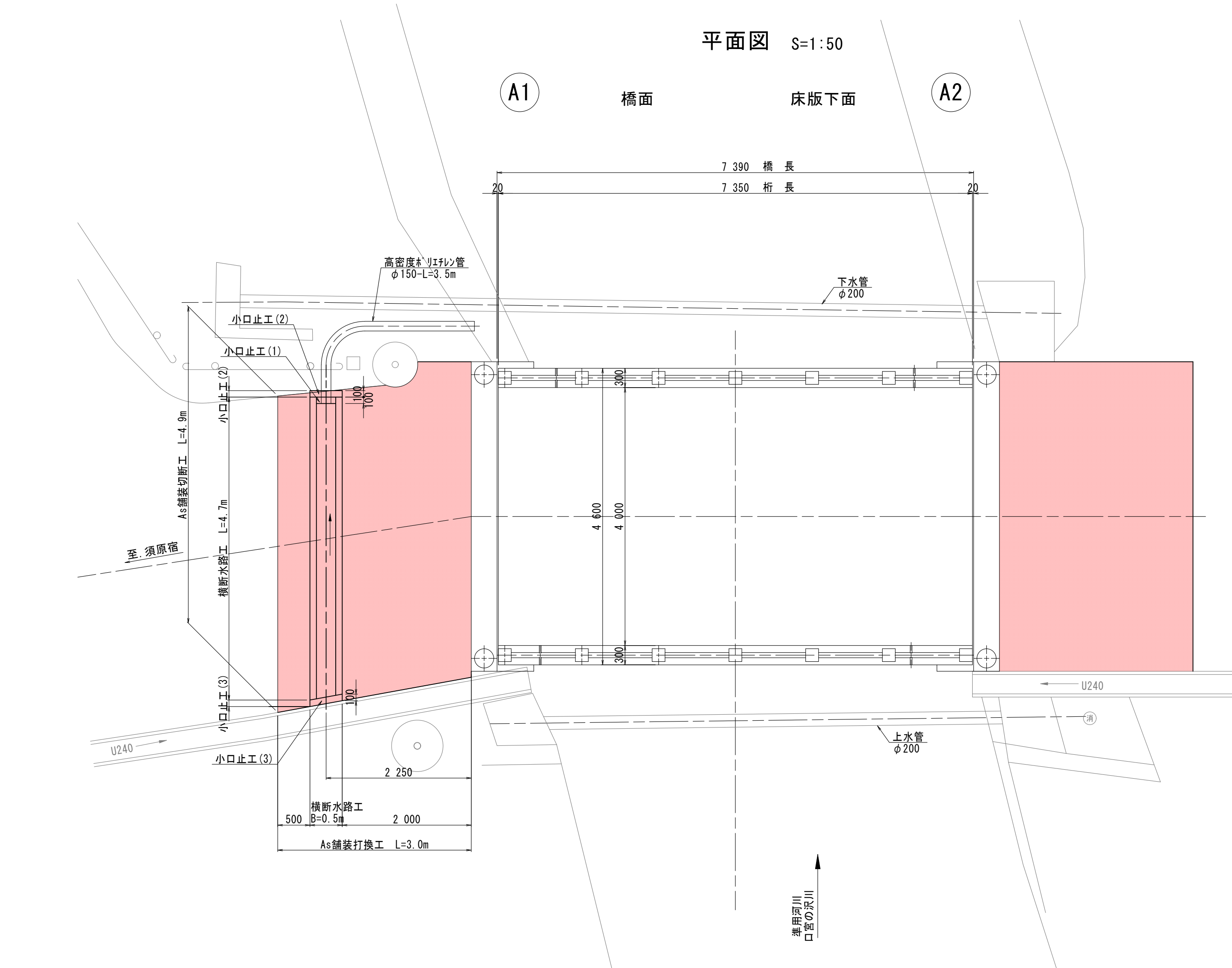
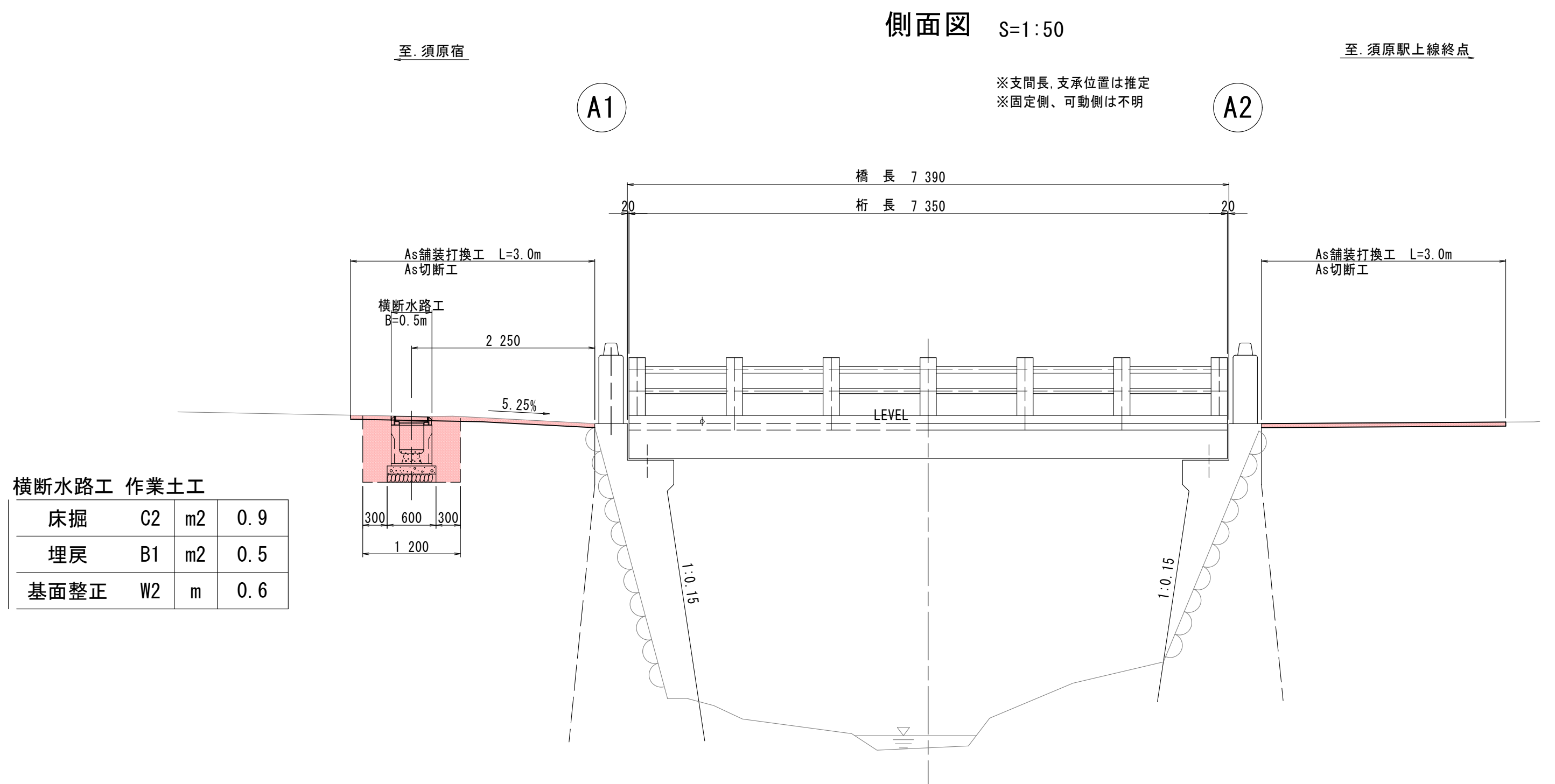
施工手順



実施図

令和7年度 口宮の沢橋修繕工事				
番号	6 / 8	コンクリート補修工標準図	縮尺	図示
村道須原駅上線 口宮の沢橋				
木曽郡 大桑村 大字須原				
設計会社	株式会社 長野技研			
測量会社				
調査会社				
大桑村役場				

口宮の沢橋 横断水路図(参考)



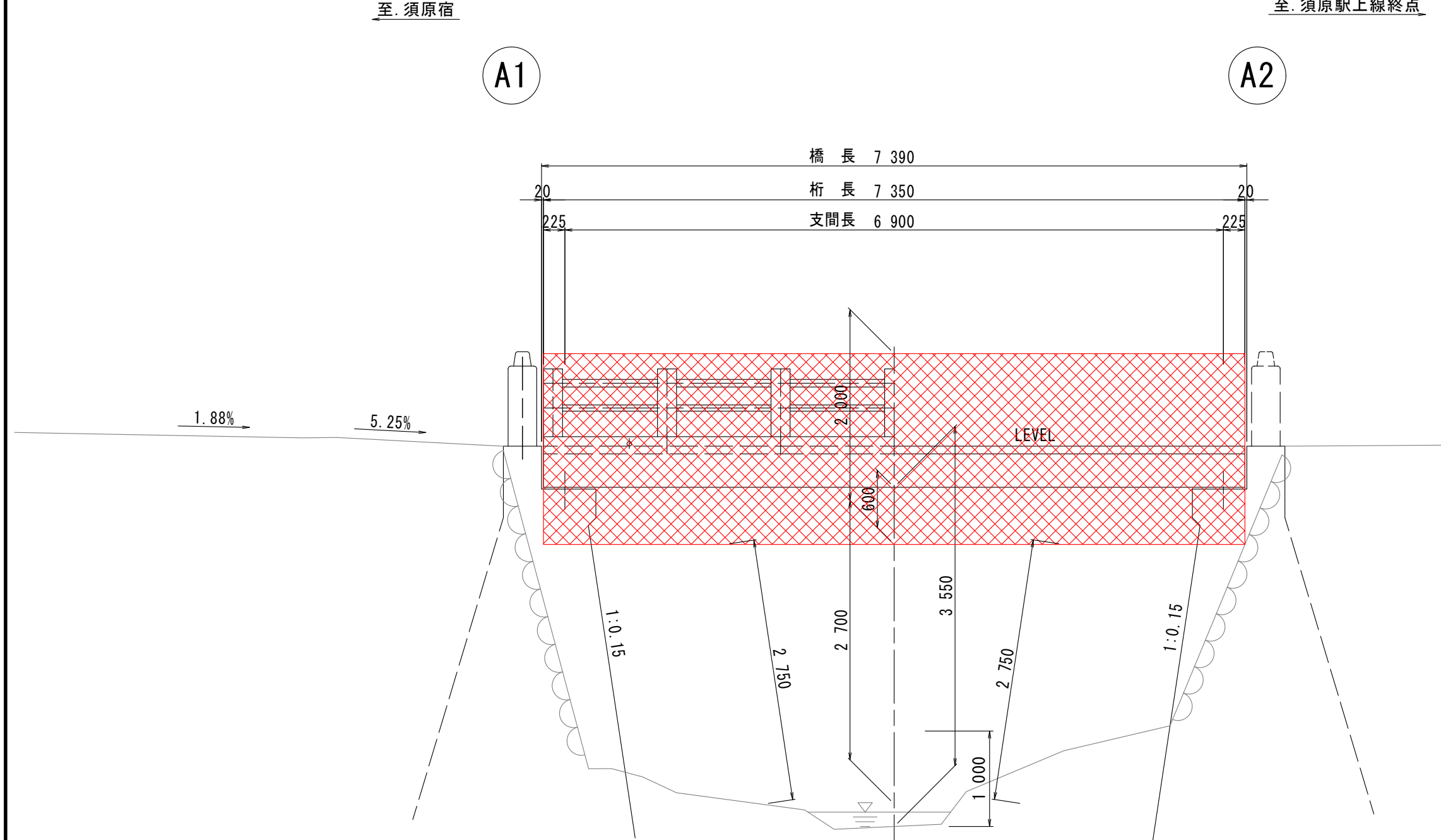
注) 1. 施工寸法や規格は、現地調査の上最終決定すること。
2. 水路設置位置は、取付道路部の既設構造物に影響の無い箇所とすること。

実施図

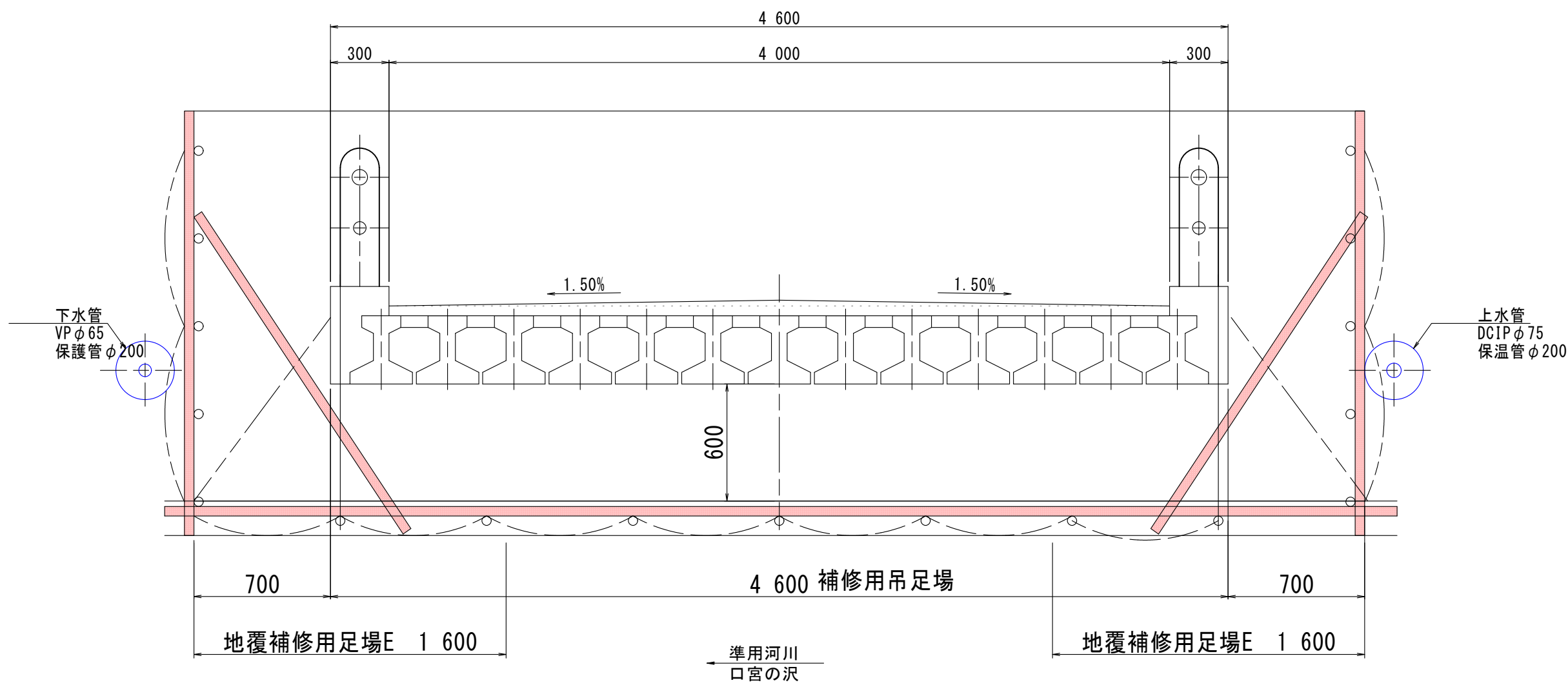
令和7年度 口宮の沢橋修繕工事				
番号	7 / 8	横断水路図	縮尺	図示
村道須原駅上線 口宮の沢橋				
木曾郡 大桑村 大字須原				
設計会社	株式会社 長野技研			
測量会社				
調査会社				
大桑村役場				

口宮の沢橋 仮設計画図(参考)

側面図 S=1:50



上部工断面図 S=1:25



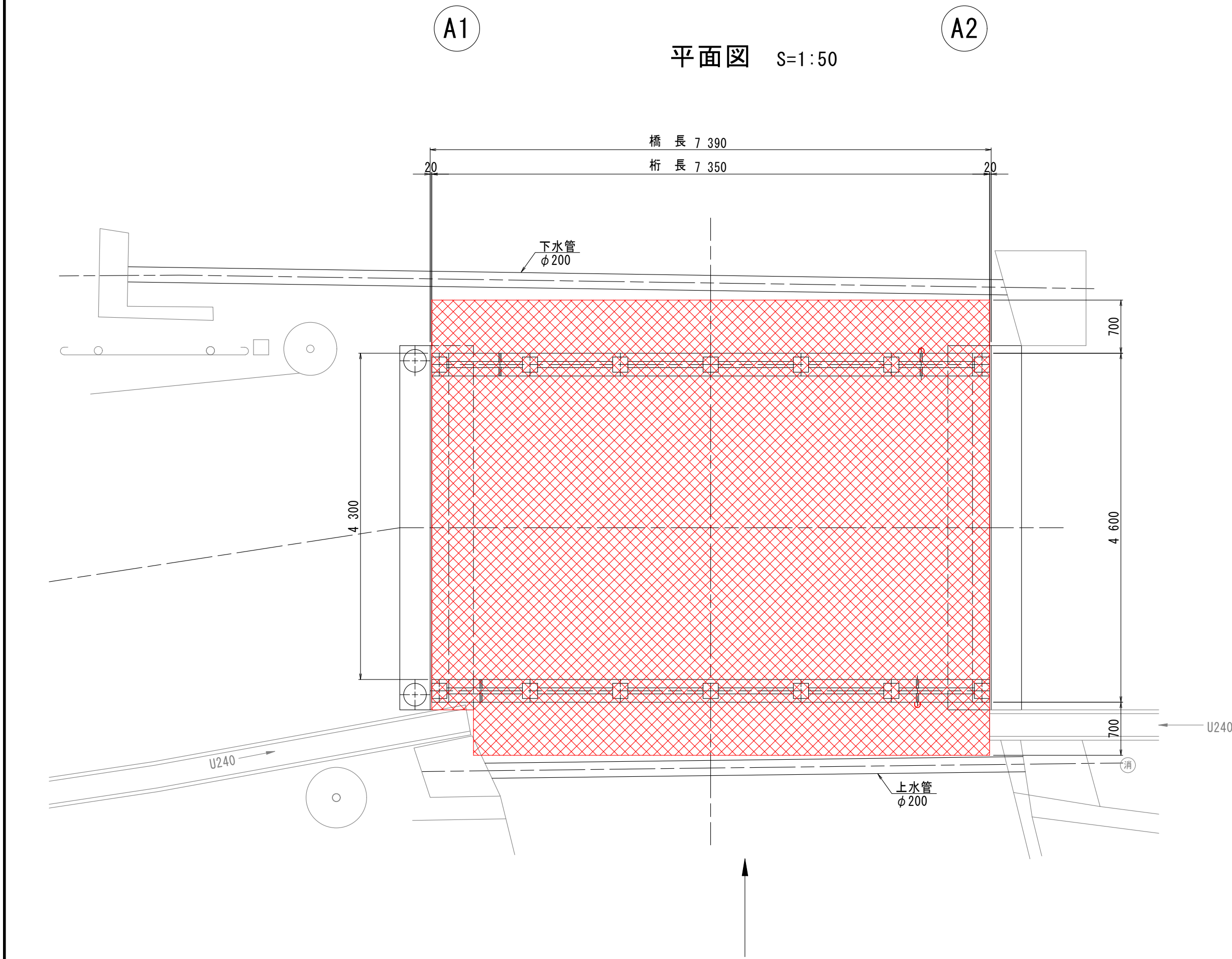
吊足場 数量表

長さ (m)	幅 (m)	数量 (箇所)	面積 (m2)
7.35	4.60	1	33.8
計			33.8

地覆補修用足場タイプE 数量表

長さ (m)	幅 (m)	数量 (箇所)	面積 (m2)
7.35	1.60	2	23.5
計			23.5

平面図 S=1:50



凡例

：吊足場

※施工は、湯水期に行うこと。

(参考)

実施図

令和7年度 口宮の沢橋修繕工事				
番号	8 / 8	仮設計画図	縮尺	図示
村道須原駅上線 口宮の沢橋				
木曽郡 大桑村 大字須原				
設計会社	株式会社 長野技研			
測量会社				
調査会社				
大桑村役場				